

平成22年 消 防 年 報



掲載写真：始良市加治木町より「桜島」を望む



鹿児島県 始良市消防本部
平成23年刊行

始良市民憲章

わが始良市は、鹿児島県の中央に位置し、風光明媚な環境に恵まれ、悠久の歴史を刻みつつ、さらに躍動するまちを目指しています。

わたしたちは、先人の郷土愛を受け継ぎ、始良市民であることに誇りと自覚を持ち、平和な魅力あるまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一 わたしたち始良市民は、決まりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりまします。
- 一 わたしたち始良市民は、ともに支え合い、思いやりのあるまちをつくりまします。
- 一 わたしたち始良市民は、健やかな心身を培い、生きがいを育むまちをつくりまします。
- 一 わたしたち始良市民は、学ぶ喜びを分かち合い、豊かな教育と文化のまちをつくりまします。
- 一 わたしたち始良市民は、明るく健全な子どもたちを育み、活力あるまちをつくりまします。

平成 23 年 4 月 24 日制定



「ア」の文字と、無限 (∞) をモチーフとして、未来へとダイナミックに大空を翔る鳥の姿を図案化。互いに結び合いながら、無限 (∞) を織りなす 3 つのラインは、3 町を表わすとともに、新市のまちづくりの基本理念である「～みんなでふれあいはぐくむまち～」、新市の「限りない可能性」、「恒久的発展性」をシンボライズ。

目 次

I 総 括

◆一目統計

1. 始良市消防本部の位置と地勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 署・所配置図及び管轄区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 消防本部・署の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 総 務

1. 始良市消防本部の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 消防本部・署の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 消防庁舎の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4. 職員の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5. 職員の学校教養実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
6. 職員の階級別年齢状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7. 職員の勤務年数表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
8. 予算の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
9. 消防費と人口の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
10. 消防費の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
11. 職員特殊技能その他資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
12. 消防相互応援協定締結状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

III 警 防

1. 消防緊急通信指令施設構成図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
2. 消防無線の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
3. 消防水利・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
4. 基準消防力・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
5. 隊員及び車両配置一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
6. 特殊機材配置一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
7. 消防車両等の一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
8. 救急車両の一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

IV 火 災

1. 火災の発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2. 火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3. 焼損状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
4. 火災発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
5. 死傷者・り災世帯数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
6. 過去5か年の火災発生件数及び損害額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

7. 原因別出火件数	26
8. 地域別火災発生状況及び損害額	27
9. 時間別火災発生状況	27
10. 月別火災発生状況	27
11. 月別管内合計	28
12. 火災・救急・救助以外の出動状況	29
V 救急・救助	
1. 救急隊別出場件数	30
2. 救急隊別搬送人員	30
3. 救急隊別不搬送件数	30
4. 曜日別・月別救急出場件数	31
5. 曜日別・月別搬送人員	31
6. 事故種別出場比率表	32
7. 覚知別出場比率表	32
8. 管内・管外別搬送人員	33
9. 発生場所別搬送人員	33
10. 時間別救急出場件数	34
11. 事故種別、医療機関別搬送人員	35
12. 年齢別、事故種別、男女別搬送人員	36
13. 傷病程度別、男女別搬送人員	36
14. 救急隊員の行った応急処置件数	37
15. 現場到着所要時間別出場件数	39
16. 収容所要時間別搬送人員	39
17. 事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員	40
18. 過去5か年の出場状況	41
19. 出場先別出場件数	41
20. 出場先別搬送人員	42
21. 出場先別不搬送件数	42
22. 管内病院等情報	43
23. 救助活動状況	45
24. 事故種別発生場所出動件数	45
VI 予 防	
1. 防火対象物現況	46
2. 階層別防火対象物の現況	47
3. 予防査察実施状況	48
4. 危険物施設の数量及び類別状況	49

5. 危険物関係施設の査察実施状況	50
6. 各種届出処理状況	50
7. 防火訓練等実施回数	51
8. 消防クラブ結成状況	52
VII 消防団	
1. 消防団現勢	53
2. 年齢別消防団員数（実員）	53
3. 在籍年数別消防団員数（実員）	53
4. 消防団員の費用弁償	53
5. 団員等年報酬状況（年）	54
6. 消防団幹部一覧表	55
7. 消防団の人員機械配置一覧表	56
VIII 付 録	
1. 組合設立までのあらまし	57
2. 消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）	57
3. 東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊「始良市消防本部」活動記録	63

I 總 括

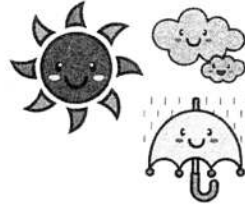
◆ 一目統計

(平成23年4月1日現在)

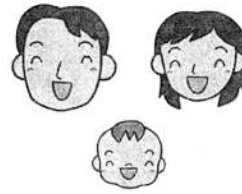
自然環境
人口・世帯



管内面積
231.32km²



気象
年間平均気温 17.9℃
年間降雨量 2,885mm



人口
75,118人

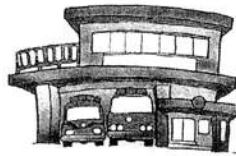


世帯数
33,245世帯

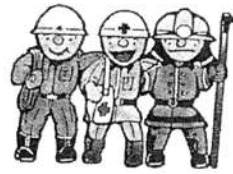
消防予算
構成・人事



消防予算
1,066,883千円



署所
消防本部 1
署 1
分遣所 2



職員数
定数 90人
実数 89人



消防団員数
定数 541人
実数 497人

機械・施設



消防車等
水槽付消防ポンプ車 4台
小型ポンプ付積載車 4台



特殊車両等
救助工作車 1台
その他車両 5台



救急車等
高規格救急車 3台
救急車 2台



消防水利
消火栓 1,114基
防火水槽 250基

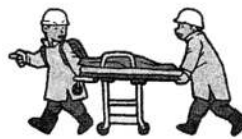
火救 救
災急 助



火災件数 25件
死者 0人
負傷者 5人
損害額 134,485 (千円)



出火原因
1位 不明・調査中
2位 その他

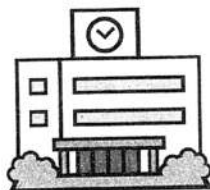


救急出動
出動件数 2,829件
搬送人数 2,671人

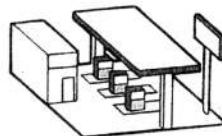


救助出動
出動件数 89件
活動件数 72件

予 防



防火対象物数
941件



危険物施設数
貯蔵所 103件
取扱所 72件



防火対象物定期点検
報告制度
特別認定事業所 24件
定期点検報告事業所 53件



防火クラブ
幼年消防 8団体
婦人防火 1団体
少年消防 2団体

1. 始良市消防本部の位置と地勢

始良市は、薩摩半島と大隅半島の分岐点、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。

東西23.7 km、南北24 kmに広がり、管内面積は231.32 km²で、鹿児島県総面積の2.5%を占めています。

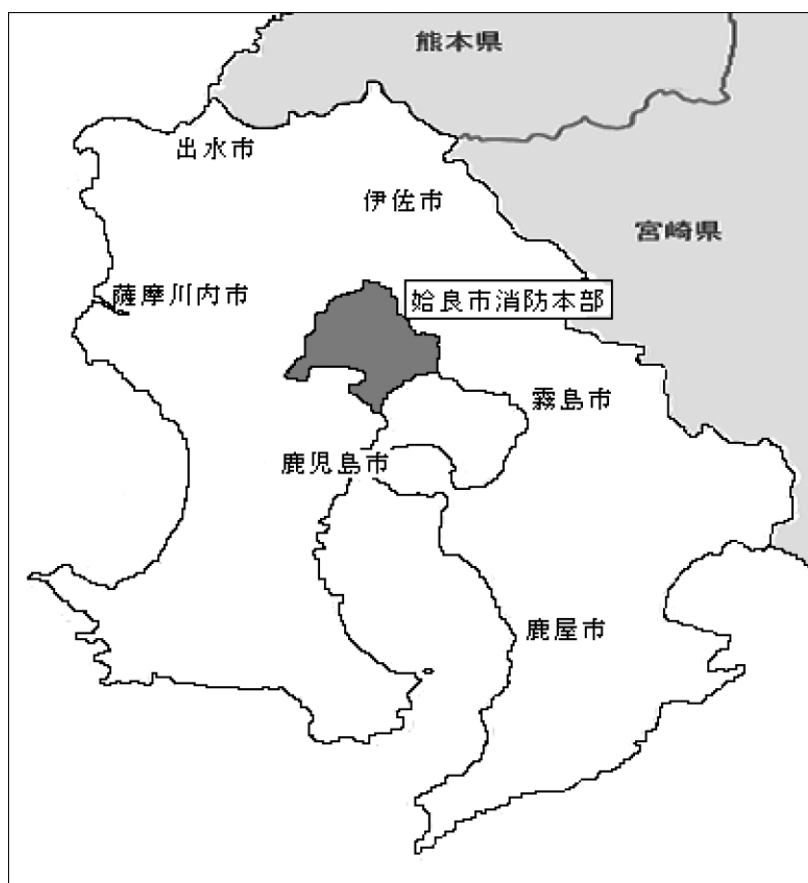
古い歴史と文化に育まれた始良市の指定文化財は県下で一番多く、伝統芸能や文化遺産などの文化財が数多く残されています。

また、樹齢約 1500 年と推定される日本一の巨樹「大クス」で有名な「蒲生八幡神社」、日露戦争の戦勝記念として建てられた希少で珍しい石造りの「山田の凱旋門」、日本の滝百選に選ばれた「龍門滝」など歴史溢れる名所や豊かな自然に恵まれています。

消防本部の位置

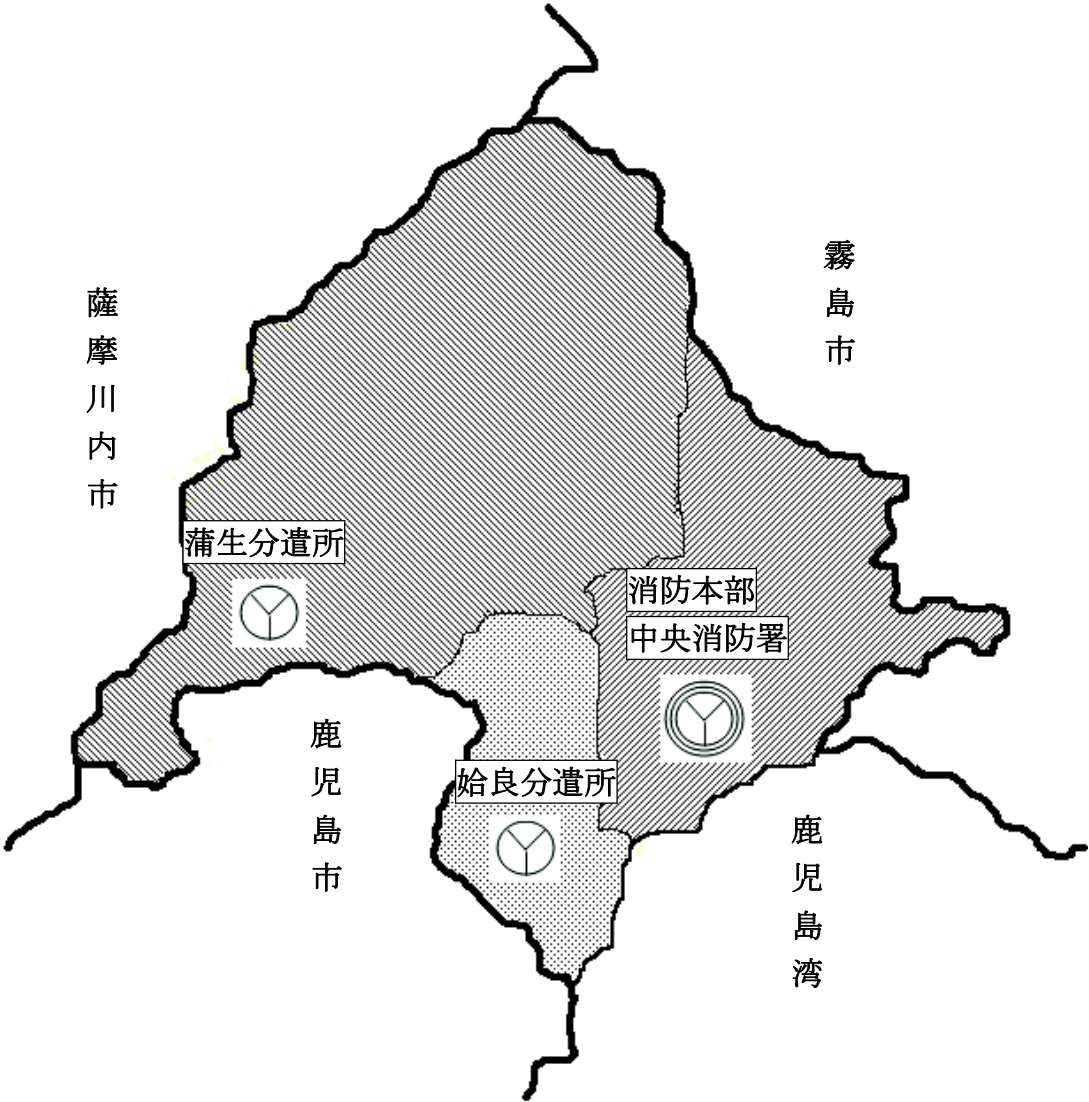
東経 130° 38′

北緯 31° 44′



2. 署・所配置図及び管轄区域

消防本部管内地図



3. 消防本部・署の沿革

年 月 日	概 要
平成22年 3月23日	始良市が誕生し、始良市消防本部発足 宮原千年初代消防長に就任
平成22年 4月 1日	消防職員5人採用
平成22年10月 8日	平成22年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(薩摩川内市)
平成23年 3月16日	高規格救急自動車更新(中央消防署に配備)
平成23年 3月14日 ～ 3月23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁長官から派遣要請を受け、延べ9人出場 (派遣先：宮城県石巻市)
平成23年 3月31日	宮原千年消防長退任
平成23年 4月 1日	黒木俊己第2代消防長就任 消防職員2人採用

は し が き

この年報は、始良市消防本部の現勢と平成22年度中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については会計年度で、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

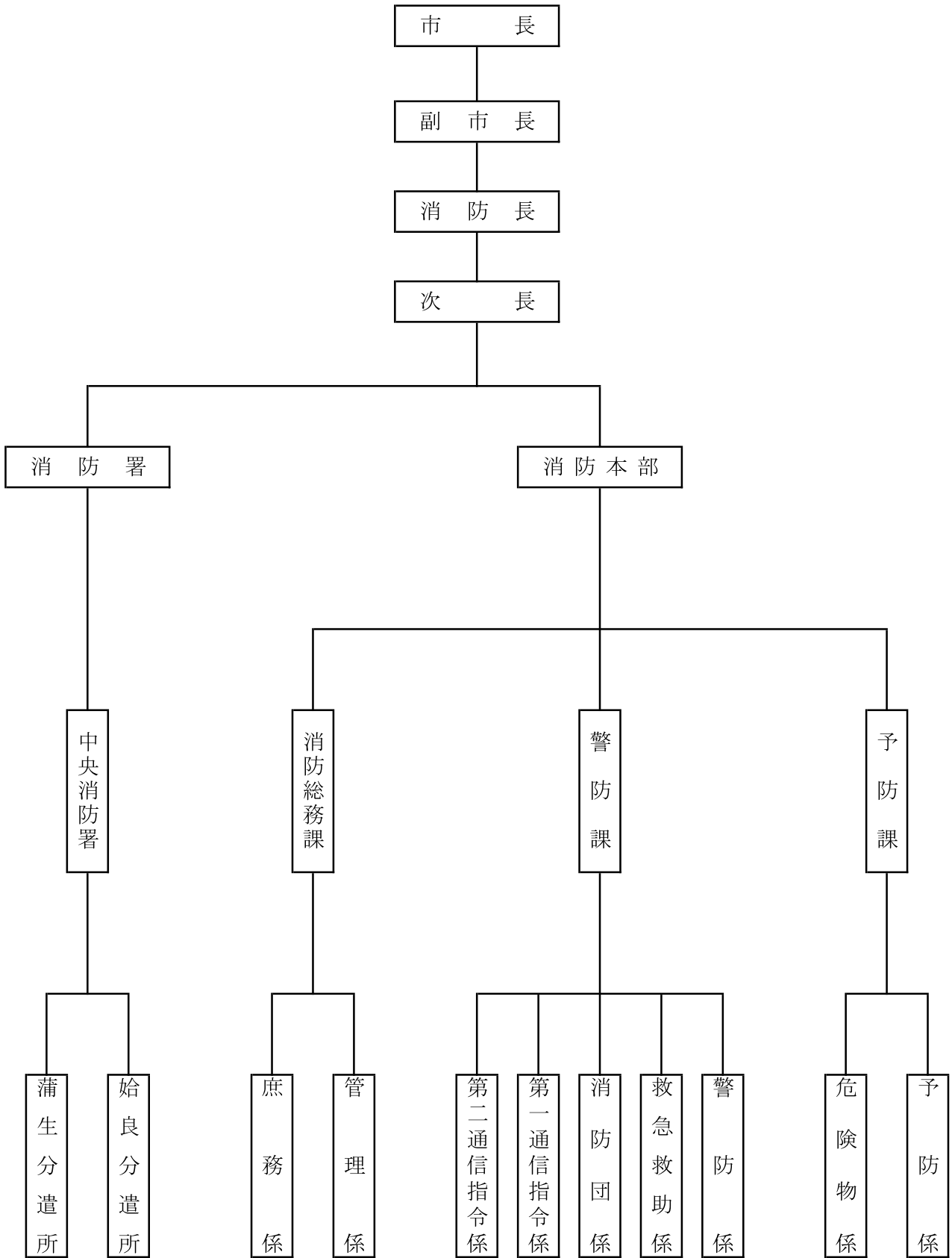
平成23年9月

始良市消防本部

Ⅱ 総務

1. 始良市消防本部の組織

(平成23年4月1日現在)



2. 消防本部・署の事務分掌

■消防本部

消防総務課

庶務係

- (1) 公印の保管及び取扱いに関する事。
- (2) 文書の收受、発送、保存、廃棄に関する事。
- (3) 職員の階級、任命、分限及び懲戒に関する事。
- (4) 職員の勤務状況に関する事。
- (5) 職員の服務に関する事。
- (6) 職員の研修及び教養に関する事。
- (7) 事務分掌に関する事。
- (8) 表彰に関する事。
- (9) 職員の衛生管理に関する事。
- (10) 職員の試験及び選考に関する事。
- (11) 消防職員委員会に関する事。
- (12) 消防協会事務に関する事。
- (13) 消防年報の作成に関する事。
- (14) 部内の他の課、係の所掌に属さない事務に関する事。

管理係

- (1) 職員の被服及び貸与品に関する事。
- (2) 消防手数料の収納に関する事。
- (3) 消防機械器具の維持管理及び運用に関する事。
- (4) 消防自動車等の整備及び修理に関する事。

警防課

警防係

- (1) 各種訓練の計画に関する事。
- (2) 火災の原因調査及び各種災害の損害調査に関する事。
- (3) 火災その他の諸証明書の発行に関する事。
- (4) 水、火災その他の災害の警戒、防ぎよ及び救護に関する事。
- (5) 消防水利及び地理に関する事。
- (6) 水、火災の警防計画に関する事。
- (7) 消防団との連絡、指導に関する事。
- (8) 非常招集に関する事。
- (9) 災害時の統計及び報告に関する事。
- (10) 相互応援協定に関する事。
- (11) 車両等の安全運転管理に関する事。
- (12) 消防用資機材に関する事。
- (13) その他課に属する事務の処理に関する事。

救急救助係

- (1) 救急、救助、潜水に関すること。
- (2) 救急、救助、潜水用資機材に関すること。
- (3) 統計、調査及び報告に関すること。
- (4) 救急、救助、潜水隊員の教育訓練に関すること。
- (5) 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- (6) 救急、救助、潜水の広報に関すること。
- (7) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- (8) メディカルコントロール協議会に関すること。
- (9) その他救急、救助、潜水に関すること。

消防団係

- (1) 消防団の組織に関すること。
- (2) 消防団員等の公務災害補償及び退職報奨金に関すること。
- (3) 消防団員の任免及び表彰に関すること。
- (4) 消防団員の報酬及び費用弁償に関すること。
- (5) 消防団員の会議に関すること。
- (6) 消防団員の研修、教養及び訓練に関すること。
- (7) 消防団員の被服及び貸与品に関すること。
- (8) 消防団員の備品に関すること。
- (9) 消防団の車庫及び施設の維持管理に関すること。
- (10) 消防団の消防自動車等の管理業務に関すること。
- (11) 消防協会事務に関すること。
- (12) 消防後援会に関すること。
- (13) その他消防団に関すること。

第一通信指令係・第二通信指令係

- (1) 水、火災その他の災害及び救急救助業務に関する受報及び令に関すること。
- (2) 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関すること。
- (3) 電話交換業務に関すること。
- (4) 消防通信の計画・配置・運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関すること。
- (5) 消防無線の運用に関すること。
- (6) 通信係員の通信技術の訓練及び指導に関すること。
- (7) 気象情報及び警報発令に関すること。
- (8) 無線業務日誌に関すること。
- (9) 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関すること。
- (10) 通信業務のデータの管理に関すること。
- (11) その他通信指令業務に関すること。

予防課

予防係

- (1) 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- (2) 火災予防査察に関すること。

- (3) 建築同意に関する事。
- (4) 消防用設備等に係る指導及び検査に関する事。
- (5) 防火対象物の表示等に関する事。
- (6) 広報活動及び火災予防運動に関する事。
- (7) 消防協力団体の育成及び指導に関する事。
- (8) その他課に属する事務の処理に関する事。

危険物係

- (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関する事。
- (2) 自主防火組織の育成指導及び連絡調整に関する事。
- (3) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。
- (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関する事。
- (5) 危険物安全協会の育成及び指導に関する事。
- (6) その他危険物に関する事。
- (7) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）第 25 条第 1 項の規定に、基づく火薬類（煙火に限る。）の消費の許可に関する事。

■ 消防署

庶務係

- (1) 備品の使用管理に関する事。
- (2) 物品の取扱いに関する事。
- (3) 公印の保管及び取扱いに関する事。
- (4) その他庶務係に関する事。

予防係

- (1) 火災予防に関する事。
- (2) 危険物の指導取締りに関する事。
- (3) 各種届出の受理及びこれらに係る警戒に関する事。
- (4) 予防査察に関する事。
- (5) 防火管理に関する事。
- (6) 防火思想の普及宣伝に関する事。
- (7) 幼年、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等の自主防災組織の指導育成に関する事。
- (8) その他予防係に関する事。

警防係

- (1) 火災予防、警戒及び防ぎよ並びにこれらに必要な処置に関する事。
- (2) 水防業務に関する事。
- (3) 消防の特別警戒に関する事。
- (4) 地理及び水利の調査に関する事。
- (5) 通信施設整備の保全、管理及び運用に関する事。
- (6) 火災その他の災害の調査に関する事。
- (7) 火災報告及び統計に関する事。
- (8) 消防団との連携及び指導に関する事。

- (9) 各種訓練に関する事。
- (10) その他警防係に関する事。

救急・救助係

- (1) 救急、救助及び潜水に関する事。
- (2) 救急、救助及び潜水用資機材に関する事。
- (3) 統計調査及び報告に関する事。
- (4) 救急及び救助隊員の教育訓練に関する事。
- (5) 応急手当の普及及び啓発運動に関する事。
- (6) その他救急、救助及び潜水に関する事。

機械係

- (1) 消防用機材の整備及び保管に関する事。
- (2) 機械関係の教養及び訓練に関する事。

3. 消防庁舎の概要

平成23年4月1日現在

区分 名称	所在地	敷地面積	主要建物の構造	延面積	完成年月
消防本部	始良市加治木町 木田2040番地	3,216.72 m ²	鉄筋コンクリート造 2階建一部6階	841.73 m ²	S 47.8
中央消防署					
始良分遣所	始良市平松 2964番地6	2,845.58 m ²	鉄筋コンクリート造 平屋建	386.74 m ²	H 10.3
蒲生分遣所	始良市蒲生町白男 1948番地1	2,993.09 m ²	鉄筋コンクリート 造平屋建	286.83 m ²	H 13.3

4. 職員の配置状況

平成 23 年 4 月 1 日現在 (単位：人)

階級別 区分		計	消 防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 吏員
消 防 本 部	消防長	1	1						
	次 長								
	消 防 総務課	7		1	2		2	1	1
	警防課	5		2	1				2
	(通信指令室)	10		1	3	3	3		
	予防課	3		2	1				
	小 計	26	1	6	7	3	5	1	3
中央消防署		31		4	5	8	8	6	
始良分遣所		16		2	3	4	4	3	
蒲生分遣所		16		2	2	4	4	4	
合 計		89	1	14	17	19	21	14	3

5. 職員の学校教養実施状況

(1) 消防大学校等

平成 23 年 4 月 1 日現在 (単位:人)

区分 階級	総 員	職 数	幹 部 研 修 科	警 防 科	予 防 科	救 急 科	救 助 科	救 急 救 命 士	九州地区 警防研修
司令長		1							
司令		14			3		2	1	3
司令補		17		2	2	1	2	2	
士長		19						7	
副士長		21						2	
消防士		14						2	
事務吏員		3							
計		89		2	5	1	4	14	3

(2) 鹿児島県消防学校

平成 23 年 4 月 1 日現在 (単位:人)

区分 階級	総職 員数	初任科	救急科 I 課程	救急科 II 課程	救急科 標準	予防科	警防科	救助科	初級 幹部科	中級 幹部科	火災 調査科	無線通 信課程
司令長	1											
司令	11	11	11	8		5	6	6	2	4	6	11
司令補	19	19	16	13	4	9	4	9	7	3	4	15
士長	15	15	7	1	13	3	2	2	4		2	19
副士長	22	22			18						1	19
消防士	18	16										4
事務吏員	3	1	1									
合計	89	84	35	22	35	17	12	17	13	7	13	68

6. 職員の階級別年齢状況

平成23年4月1日現在 (単位：人)

年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	総数	5		10	
19歳												
20歳						1		1	■			
21歳						3		3	■■■■			
22歳												
23歳						1		1	■			
24歳						4		4	■■■■			
25歳						1		1	■			
26歳						2		2	■■			
27歳						4		4	■■■■			
28歳												
29歳						1		1	■			
30歳						1		1	■			
31歳					1			1	■			
32歳					3			3	■■■			
33歳					4			4	■■■■			
34歳				1				1	■			
35歳				2	9			11	■■■■■■■■■			
36歳			1	1	2		1	5	■■■■			
37歳				2	1			3	■■■			
38歳				2	1			3	■■■			
39歳			1	1				2	■■			
40歳			1	4				5	■■■■			
41歳												
42歳			1					1	■			
43歳			2					2	■■			
44歳												
45歳			1					1	■			
46歳												
47歳												
48歳												
49歳												
50歳			1					1	■			
51歳			4		1			5	■■■■			
52歳		2					1	3	■■■			
53歳			1					1	■			
54歳		3	1					4	■■■■			
55歳			2					2	■■			
56歳		1	2	1			1	5	■■■■			
57歳	1	2						3	■■■			
58歳		2						2	■■			
59歳		1	1	1				3	■■■			
総数	1	11	19	15	22	18	3	89				

7. 職員の勤務年数表

平成23年4月1日現在 (単位：人)

年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	総数	5 10 15		
									5	10	15
0年	1					2	1	4	■		
1年						5	1	6	■■		
2年						2		2	■		
3年						3		3	■■		
4年					1	1		2	■		
5年											
6年											
7年											
8年					1	1		2	■		
9年					1			1	■		
10年											
11年					2			2	■■		
12年											
13年					2			2	■■		
14年				5	5			10	■■■■		
15年				1				1	■		
16年				2	1			3	■■		
17年			3	6	7			16	■■■■■■		
18年			2	2				4	■■■		
19年											
20年											
21年				1				1	■		
22年											
23年											
24年			3					3	■■■		
25年											
26年											
27年											
28年											
29年											
30年											
31年											
32年		1	4		1			6	■■■■		
33年		5	3					8	■■■■■		
34年											
35年			1					1	■		
36年											
37年											
38年		3	1	1			1	6	■■■■		
39年		4	1	1				6	■■■■		
総数	1	13	18	19	21	14	3	89			

8. 予算の比較

平成23年4月1日現在 (単位：千円)

年次	市一般会計予算	消 防 費	一般会計予算に対する割合 (%)
平成23年度	26,402,000	1,066,883 (928,943)	4.0 (3.5)

※ 括弧内については、消防本部所管分

9. 消防費と人口の比較

平成23年4月1日現在 (単位：円)

区 分	消 防 費	1世帯当たり	1人当たり
予 算 額	1,066,883,000 (928,943,000)	32,092 (27,942)	14,203 (12,366)

※ 括弧内については、消防本部所管分

10. 消防費の内訳

平成23年4月1日現在 (単位：千円)

区 分		平成23年度当初予算額
消 防 本 部 所 管 分	常 備 消 防 費	818,580
	人 件 費	745,021
	報 酬	18
	報 償 費	244
	旅 費	2,325
	需 用 費	21,657
	役 務 費	5,671
	委 託 料	17,499
	使 用 料 及 び 賃 借 料	15,309
	原 材 料 費	50
	備 品 購 入 費	2,500
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	7,860
	公 課 費	426
	非 常 備 消 防 費	92,658
消 防 施 設 費	17,705	
計	928,943	
水 防 費 (建設部土木課所管分)		740
災 害 対 策 費 (危機管理室危機管理課所管分)		137,200
合 計		1,066,883

11. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

平成23年4月1日現在 (単位：人)

免許等種別		階級別	合計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	事 務 吏 員
自動車運転免許	一 種	大 型	63		7	14	18	19	5	
		中 型	4				3	1		
		普 通	22	1		3	2	1	12	3
	二 種	大 型	3		2					1
	自 動	二 輪	51	1	11	9	7	14	7	2
消防設備士	甲 種	第1類	1						1	
	乙 種	第1類	3		1			1		1
		第4類	1		1					
		第5類	1							1
		第6類	8		2	1	2	2		1
	第7類	1							1	
危険物取扱者	乙種第1類	2					1	1		
	乙種第2類	1						1		
	乙種第3類	3			1		1	1		
	乙種第4類	52		2	1	14	20	15		
	乙種第5類	1						1		
	乙種第6類	2					1	1		
	丙 種	3			2			1		
予防技術検定	危険物	6			1	3	2			
	防火査察	17			3	3	7	4		
	消防設備	3			1	2				
特殊無線技師無線電話(乙)			71		9	13	20	20	9	
電気工事士			3				1	1	1	
潜水士免許			24		1	4	5	7	7	
スクーバライセンス			5		1	1	2		1	
小型船舶操縦士			21		7	2	5	5	2	
アマチュア無線			15	1	2	5	4	3		
移動式クレーン			37		3	8	11	12	3	
ガス溶接			41			6	12	20	3	
小型ボイラー取扱者			11				3	7	1	
玉掛技能			35		4	5	11	12	3	
救急救命士			14		1	2	5	4	2	
救急救命士気管挿管実習			8			2	3	3		
特定化学物質等作業主任技能講習			10		1	3	4	2		
応急手当指導員			61		8	17	20	15	1	
火薬取扱保安責任者			1			1				
大型特殊免許			4			1	1	2		
高所作業車運転免許			1				1			
車両系建設機械運転技能			2				1	1		

12. 消防相互応援協定締結状況

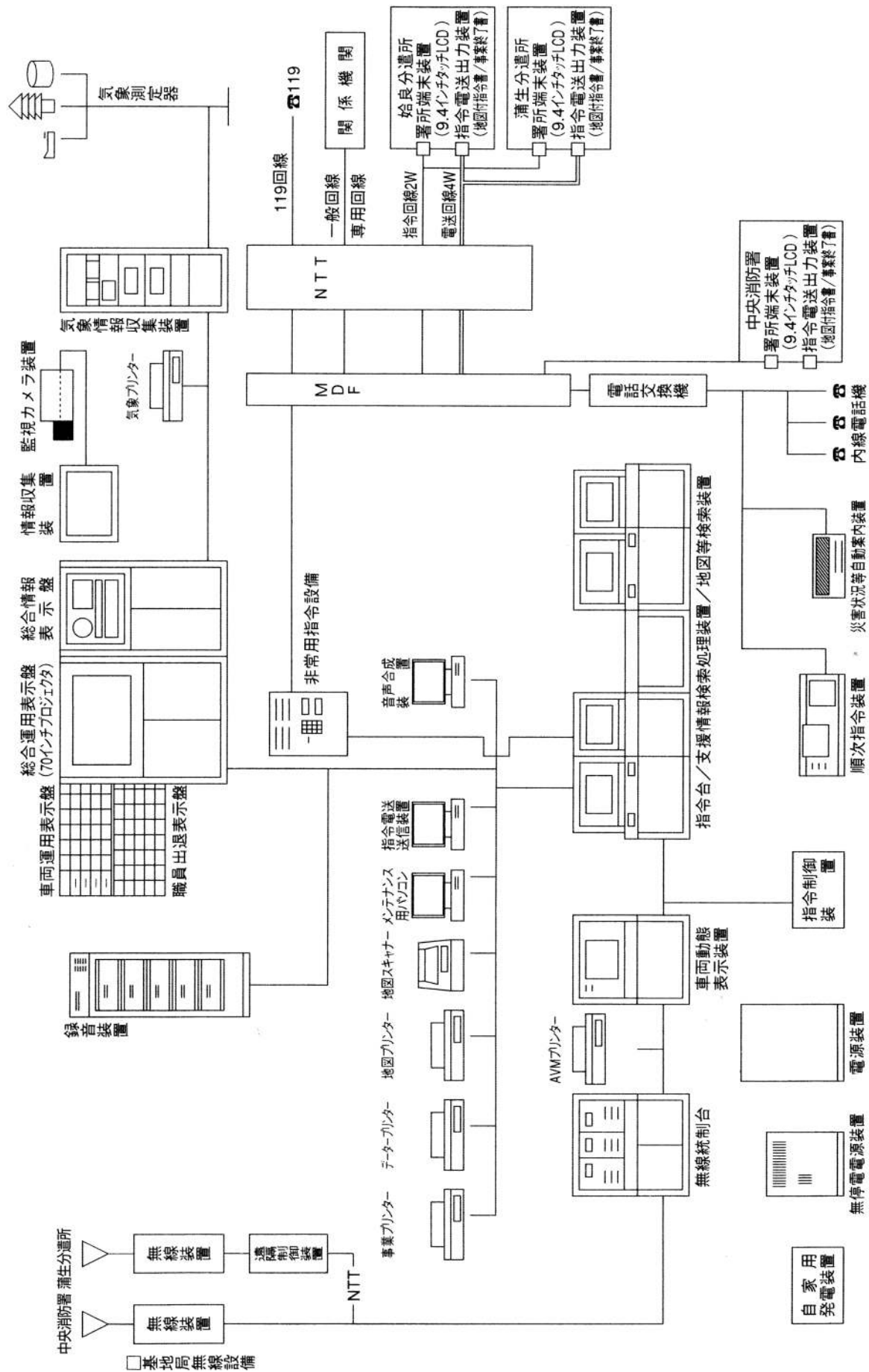
協定市町村名称等	協定の内容	締結年月日
鹿児島県	鹿児島県消防相互応援協定	平成18年10月25日
鹿児島県	消防・防災ヘリコプターに関する応援協定	平成10年6月26日
鹿児島空港	消火救難活動に関する協定	平成22年3月23日
鹿児島市	消防相互応援協定	平成22年3月23日
霧島市	消防相互応援協定	平成22年3月23日
薩摩川内市	消防相互応援協定	平成22年3月23日
高速自動車道 沿線7消防本部	九州縦貫自動車道消防相互応援協定	平成22年3月23日
霧島市	隼人道路における消防相互応援協定	平成22年3月23日

III 警 防

警
防

1. 消防緊急通信指令施設構成図

(平成22年4月1日現在)



2. 消防無線の状況

区 分	数	周波数	呼 出 名 称	備 考
基地局及び固定局	2		あいしょう ほんぶ あいしょう かもう	消 防 本 部 蒲 生 分 遣 所
移 動 局	16	F 3 1 0 W 1 チャンネル (市町村波) 149.75MH z	あいしょう けいぼう 1 あいしょう ちゅうおう 1 あいしょう ちゅうおう 2 あいしょう ちゅうおう 3 ちゅうおう きゅうじよ 1 ちゅうおう しき 1 きゅうきゅう ちゅうおう 1 きゅうきゅう ちゅうおう 2 あいしょう こうき 1 あいしょう しえん 1 あいしょう あいら 1	警 防 車 (本部) 水 槽 付 消 防 車 (中央) 小 型 ポ ン プ 付 積 載 車 (中央) 水 槽 付 消 防 車 (中央) 救 助 工 作 車 (中央) 指 揮 連 絡 車 (中央) 高 規 格 救 急 車 (中央) 救 急 車 (中央) 高 規 格 救 急 車 (中央) 資 機 材 搬 送 車 (中央) 水 槽 付 消 防 車 (始良)
携 帯 局	16	2 チャンネル (県共通波) 148.21MH z 3 チャンネル (全国波) 150.73MH z 4 チャンネル (全国波) 148.75MH z 5 チャンネル (全国波) 154.15MH z	あいしょう あいら 2 きゅうきゅう あいら 1 あいしょう かもう 1 あいしょう かもう 2 きゅうきゅう かもう 1 あいしょう けいぼう 1 1 あいしょう ちゅうおう 1 1 あいしょう ちゅうおう 1 2 あいしょう ちゅうおう 1 3 あいしょう ちゅうおう 1 4 あいしょう ちゅうおう 1 5 あいしょう ちゅうおう 1 6 あいしょう ちゅうおう 1 7 あいしょう あいら 1 1 あいしょう あいら 1 2 あいしょう あいら 1 3 あいしょう あいら 1 4 あいしょう かもう 1 1 あいしょう かもう 1 2 あいしょう かもう 1 3 あいしょう かもう 1 4	小 型 ポ ン プ 付 積 載 車 (始良) 高 規 格 救 急 車 (始良) 水 槽 付 消 防 車 (蒲生) 小 型 ポ ン プ 付 積 載 車 (蒲生) 救 急 車 (蒲生) 消 防 本 部 中 央 消 防 署 中 央 消 防 署 中 央 消 防 署 中 央 消 防 署 中 央 消 防 署 中 央 消 防 署 始 良 分 遣 所 始 良 分 遣 所 始 良 分 遣 所 始 良 分 遣 所 蒲 生 分 遣 所 蒲 生 分 遣 所 蒲 生 分 遣 所 蒲 生 分 遣 所

3. 消防水利

平成23年4月1日現在

消火栓	防火水槽（プールを含む）	現有基数
1, 114	250	1, 364

4. 基準消防力

■署所の人員

平成23年4月1日現在（単位：人）

区 分	基準台数 (台)	基準台数に対する 人員の基準数(人)	現有台数 (台)	現有台数に対する 人員の基準数(人)	現有人員 (人)	
署 所	3		3			
消防・救急隊員	消防ポンプ自動車	7	4	60	31	
	はしご付消防自動車	1				
	化学消防自動車	1				
	救助工作自動車	1	15	1	15	8
	救急自動車	4	36	5	36	24
	小 計	17	156	9	111	63
通 信 員		10		10	10	
予 防 要 員		15		15	3	
そ の 他 の 人 員		9		9	13	
合 計		190		135	89	

5. 隊員及び車両配置一覧表

平成23年4月1日現在（単位：人）

車両 配置先	水槽付消防 ポンプ自動車	小型ポンプ付 積載自動車	救助工作 自動車	救急自動車		人 員
				高規格	2B	
中央消防署	2	1	1	2	1	31
始良分遣所	1	1		1		16
蒲生分遣所	1	1			※ 1	16
合 計	4	3	1	3	2	63

※ 蒲生分遣所の救急自動車は、高規格対応型救急自動車である。

6. 特殊機材配置一覧表

平成23年4月1日現在

機材名	配置先	中央消防署	始良分遣所	蒲生分遣所	合計
空気呼吸器		9	4	6	19
予備ボンベ		23	13	14	50
ガス検知器		2	1	2	5
災害用発電機		3	1	2	6
ガス溶断器		1			1
ポートパワー		1			1
エンジンカッター		2	1	2	5
チェーンソー		2	1	1	4
耐熱服			1	1	2
救命索発射銃		4			4
ラインランチャー		1			1
避難はしご		1		1	2
スローダウン		1			1
空気式救助マット		1			1
投光器		2	3	1	6
チルホール		1	1	1	3
エアージャッキ		1			1
ハイジャッキ		1			1
ショックバー		1			1
ベンケイ		5	2	1	8
ジェットシューター		4	2	5	11
かぎ付きはしご		2		1	3
レスキューツール		1			1
ウエットスーツ		8			8
船型タンカ		1			1
安全マット		3	7	8	18
張力計		1	1		2
潜水器具一式		8			8
潜水予備ボンベ		14			14
陽圧式化学防護服		2			2
防毒マスク		3	3	3	9
防塵マスク		11	8	8	27
救命ボート		1	1		2
船外機		1			1
エアソー		1			1
削岩機		1			1
都市型レスキュー用資機材一式		1			1
エアテント		1			1

7. 消防車両等の一覧表

平成23年4月1日現在

車名	配置先	車両番号	無線番号	車種	年式	購入年月日	ポンプ	級別	総重量 (kg)	乗車人員	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
広 連 絡 車	本 部	鹿児島 51は6058		日 産	H 6	H 6. 3. 18			1, 535	5	459	169	146	
警 防 車	本 部	鹿児島 80あ1290	あいしよう 警防1	スズキ	H12	H12. 10. 2			1, 020	4	339	147	173	
査 察 車	本 部	鹿児島 50さ8647		日 産	H18	H18. 7. 20			1, 455	5	441	169	149	
指 揮 車	中 央 消防署	鹿児島 800す607	あいしよう 中央指揮1	トヨタ	H19	H19. 12. 18			3, 215	6	538	188	252	
水 槽 付 ボ ン プ 車	中 央 消防署	鹿児島 800は252	あいしよう 中央1	日 野	H13	H13. 2. 9	日 機	A2	8, 970	6	679	228	285	鋼製3連梯子・ラインブロボローションナー 積水2.0t
水 槽 付 ボ ン プ 車	中 央 消防署	鹿児島 800さ753	あいしよう 中央3	三 菱	H11	H11. 11. 11	森 田	A2	7, 435	7	689	221	269	鋼製3連梯子・積水1.5t
救 助 工 作 車	中 央 消防署	鹿児島 830て119	あいしよう 中央救助1	三 菱	H14	H14. 2. 14			9, 490	5	760	222	316	UR-V342C型クレーン特殊機材一覧参照 ラムゼイ RE12000R ウィンチ最大直引5トン以上
小 型 ボ ン プ 付 積 載 車	中 央 消防署	鹿児島 80あ1382	あいしよう 中央2	ホンダ	H13	H13. 10. 19	ト ー ハ ツ	B3	1, 170	2	319	139	194	小型ポンプ (ト ー ハ ツ B3)
小 型 ボ ン プ 付 積 載 車	中 央 消防署	鹿児島 80あ541		ホンダ	H 5	H 5. 2. 3	ラ ビ ッ ト	B3	1, 160	2	325	139	190	小型ポンプ (ラ ビ ッ ト B3) 予備車
資 機 材 搬 送 車	中 央 消防署	鹿児島 80さ7954	あいしよう 支援1	いすゞ	H17	H17. 3. 25			2, 975	6	469	169	213	
水 槽 付 ボ ン プ 車	始 良 分遣所	鹿児島 800は75	あいしよう 始良1	三 菱	H11	H11. 11. 12	GM 市原	A2	8, 430	6	667	220	281	鋼製3連梯子・積水2.0t・泡原液100L
小 型 ボ ン プ 付 積 載 車	始 良 分遣所	鹿児島 80あ1014	あいしよう 始良2	ホンダ	H10	H10. 3. 23	ラ ビ ッ ト	B3	1, 200	2	325	139	196	小型ポンプ (ラ ビ ッ ト B3)
水 槽 付 ボ ン プ 車	蒲 生 分遣所	鹿児島 88ゆ2215	あいしよう 蒲生1	日 野	H 8	H 8. 11. 25	小 川	A2	6, 670	6	686	230	276	鋼製3連梯子・ラインブロボローションナー 積水2.0t
小 型 ボ ン プ 付 積 載 車	蒲 生 分遣所	鹿児島 880あ247	あいしよう 蒲生2	ダイハ ッ	H18	H18. 10. 20	ト ー ハ ツ	B3	1, 240	2	339	147	198	小型ポンプ (ト ー ハ ツ B3)

8. 救急自動車一覧表

平成23年4月1日現在

車名	配置先	車両番号	車種	年式	購入年月日	級別	総重量 (kg)	乗車人員	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備考
救急中央1	中央消防署	鹿児島830さ9009	日産	H23	H23. 3. 18	高規格	3,275	7	564	190	249	
始消高規1	中央消防署	鹿児島830せ119	日産	H13	H13. 2. 16	高規格	3,245	7	575	190	246	
救急始良1	始良分遣所	鹿児島831な119	トヨタ	H22	H22. 1. 15	高規格	3,235	7	562	189	249	
救急蒲生1	蒲生分遣所	鹿児島800さ8940	トヨタ	H18	H18. 3. 15	2B	2,890	8	539	180	248	高規格対応型
予備車	中央消防署	鹿児島88す9296	トヨタ	H10	H10. 10. 13	2B	2,900	8	536	169	243	

IV 火 災

火
災

1. 火災の発生状況

平成22年中における当市の火災発生件数は、25件で前年と比較して15件減少している。

その内訳は、建物火災13件（前年比12件減）・車両火災3件（前年比1件減）・その他火災9件（前年比1件増）となっている。

また、建物焼損面積は1,157㎡で前年と比較して37㎡減少している。

損害額は134,485千円で93,842千円増加している。

出火原因は、「不明・調査中」6件で最も多く、次いで「その他」が4件で、「こんろ」「取灰」「放火の疑い」が各2件、「たばこ」「煙突・煙道」「電気機器」「電灯電話等配線」「内燃機関」「火遊び」「たき火」「溶接機・切断機」「火入れ」が各1件と続き、火災による負傷者が5名発生している。

また、火災件数に計上されない、その他の出動は73件で、その内訳は、処理外火災（枯草火災等）・自火報鳴動・誤報・油処理・怪煙確認・自然災害・捜索等に出動している。

2. 火災概要

平成22年1月1日～平成22年3月31日

区分	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他火災	計
件数	13件		3件		9件	25件
焼損面積	1,157㎡					

3. 焼損状況

平成22年1月1日～平成22年12月31日

建物火災	住宅	全焼（棟）	5
		半焼（棟）	
		部分焼（棟）	
		ぼや（棟）	4
		計（棟）	9
	非住家	全焼（棟）	
		半焼（棟）	1
		部分焼（棟）	2
		ぼや（棟）	1
		計（棟）	4
損害額	建物火災（千円）	133,221	
	林野火災（千円）		
	車両火災（千円）	1,032	
	その他火災（千円）	232	
	計（千円）	134,485	

4. 火災発生状況

平成22年1月1日～平成22年12月31日

番号	月 日	曜日	覚知時刻	種別	発生場所	原因	焼損棟数				焼損面積 (㎡・a)	損害額 (千円)	り災状況		負傷者 (人)	死者 (人)
							全焼	半焼	部分焼	ぼや			世帯 (人)	人員 (人)		
1	1月1日	時不明	1月12日 16時40分	建物	給良市蒲生町久末	その他			非住1		1,944					
2	1月18日	月	12時46分	その他	給良市船津	たき火										
3	1月19日	火	17時24分	車両	給良市加治木町九州道上り	その他					13					
4	2月1日	月	11時02分	その他	給良市平松	放火の疑い								1		
5	2月20日	土	22時49分	その他	給良市蒲生町西浦	取灰										
6	2月21日	日	12時56分	その他	給良市下名	火入れ拡大				2						
7	3月20日	土	19時30分	建物	給良市三拾町	ガステーブル			住1		3	1	1			
8	3月23日	火	11時35分	建物	給良市平松	不明	住1 非住1		非住1	床面89	1,803	1	1			
9	3月28日	日	4時37分	建物	給良市加治木町木田	排気ダクト		非住1		床面4	987	1	2			
10	3月30日	火	15時47分	建物	給良市蒲生町西浦	火遊び	住1					2	5	1		
11	4月18日	日	11時43分	建物	給良市下名	切断機の火花		非住1		床面5	8					
12	4月19日	月	23時24分	建物	給良市加治木町西別府	不明	住1	住1	住1	床面144	2,644	3	5			
13	4月21日	水	23時43分	建物	給良市平松	不明	住1		住1	床面106 表面1	4,350	1	1			
14	5月10日	月	9時40分	その他	給良市西餅田	不明										
15	6月6日	日	15時09分	その他	給良市東餅田	不明					177					
16	6月10日	木	13時23分	その他	給良市東餅田	電灯電話線等					55					
17	8月6日	金	8時36分	車両	九州道上り325Kp付近	内燃機関					175					
18	8月22日	日	5時21分	建物	給良市東餅田	ガステーブル			住1		8	1	1			
19	10月4日	月	22時02分	建物	給良市西始良1丁目	ガステーブル			住1		10					
20	10月16日	土	13時20分	その他	給良市加治木町小山田	たばこ										
21	10月19日	火	23時31分	建物	給良市加治木町西別府	不明		非住1			109,868					
22	11月20日	土	15時50分	その他	給良市東餅田	放火の疑い										
23	11月25日	木	3時29分	建物	給良市東餅田	取灰	住1 非住1			床面264	7,299					
24	12月25日	土	5時08分	車両	給良市脇元国道10号線上り	摩擦熱					844			1		
25	12月27日	月	12時31分	建物	給良市東餅田	電気機器			住1		7					

5. 死傷者・り災世帯数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

死 傷 者	死 者	0 人
	傷 者	5 人
り 災 世 帯 数		13 世帯
り 災 者 数		23 人
1 か 月 平 均 出 火 件 数		2.0 件
火 災 1 件 当 た り 損 害 見 積 額		5,392 千円
火 災 1 件 当 た り の 平 均 焼 損 面 積	建 物	89.0 m ²
	林 野	
出 火 率 (12月1日現在の人口で計算)		3.3

6. 過去5か年の火災発生件数及び損害額

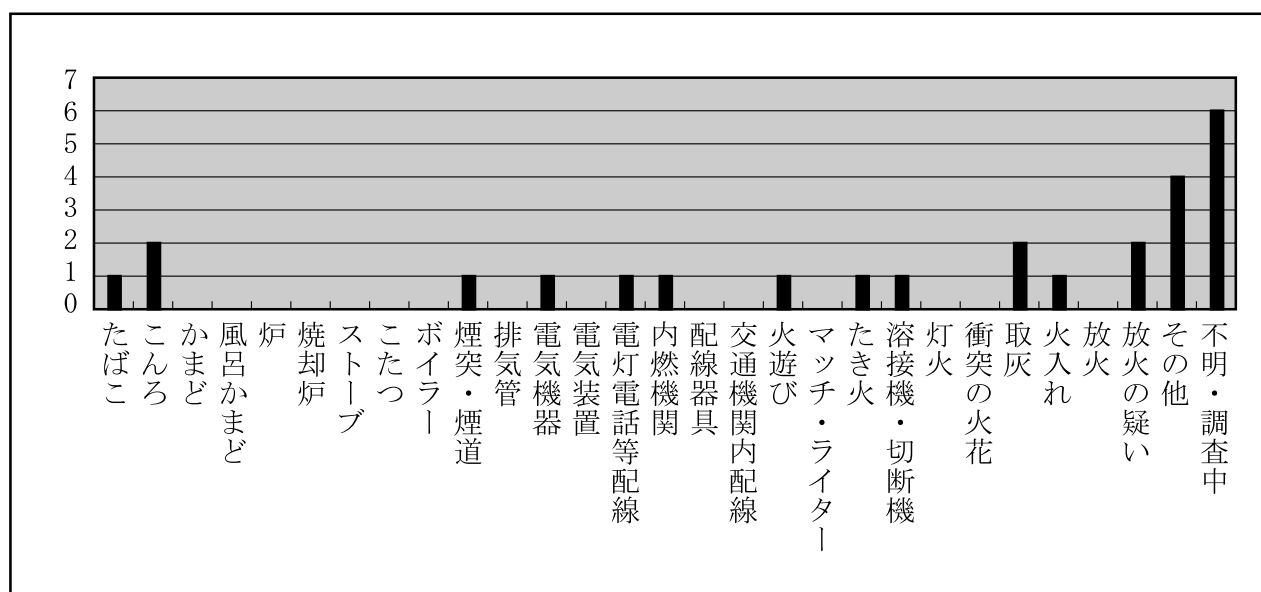
(平成18年～平成22年)

区 分 年	建物火災	林野火災	車両火災	その他の 火 災	合計	損害額(千円)
平成18年	16	1	5	4	26	40,787
平成19年	17	3	4	6	30	56,931
平成20年	22	1	4	3	30	62,025
平成21年	25	3	4	8	40	40,643
平成22年	13	0	3	9	25	134,485

7. 原因別出火件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

原因別	件数	原因別	件数
たばこ	1	配線器具	0
こんろ	2	交通機関内配線	0
かまど	0	火遊び	1
風呂かまど	0	マッチ・ライター	0
炉	0	たき火	1
焼却炉	0	溶接機・切断機	1
ストーブ	0	灯火	0
こたつ	0	衝突の火花	0
ボイラー	0	取灰	2
煙突・煙道	1	火入れ	1
排気管	0	放火	0
電気機器	1	放火の疑い	2
電気装置	0	その他	4
電灯電話等配線	1	不明・調査中	6
内燃機関	1	合 計	25



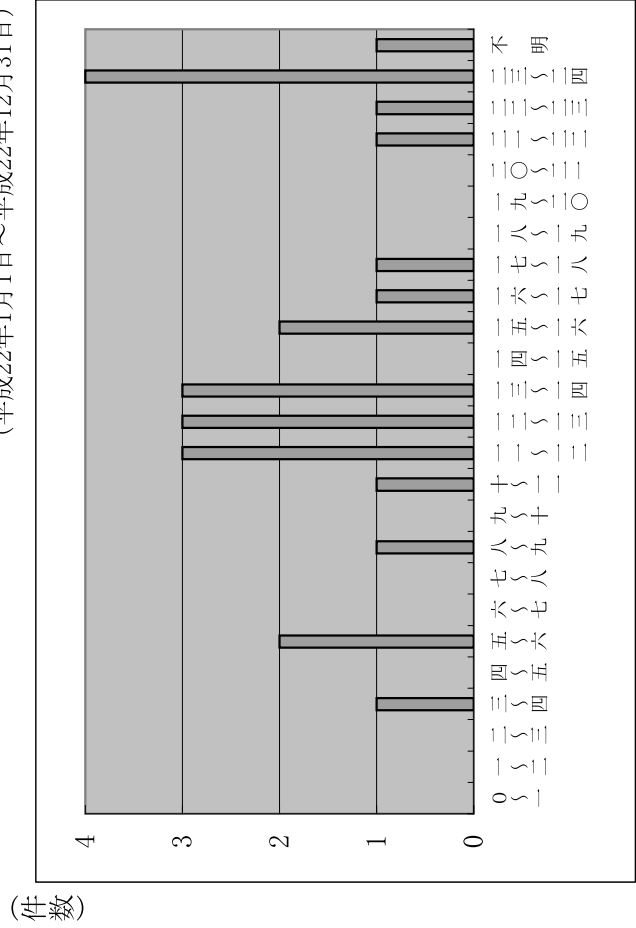
8. 地域別火災発生状況及び損害額

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

種別 地域別	総計		建物火災		林野火災		車両火災		その他火災		焼損面積		り災者		死傷者		焼 損 棟 数				
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	建物 (㎡)	林野 (a)	世帯	人員	死者	負傷者	全焼	半焼	部分焼	ぼや	
始良	17	14,694	8	13,443	0	0	2	1,019	7	232	468	0	7	12	0	4					
加治木	5	113,512	3	113,499	0	0	1	13	1	0	513	0	4	6	0	0					
蒲生	3	6,603	2	6,603	0	0	0	0	1	0	176	0	2	5	0	1					
合計	25	134,809	13	133,545	0	0	3	1,032	9	232	1,157	0	13	23	0	5	0	0	0	0	0

9. 時間別火災発生状況

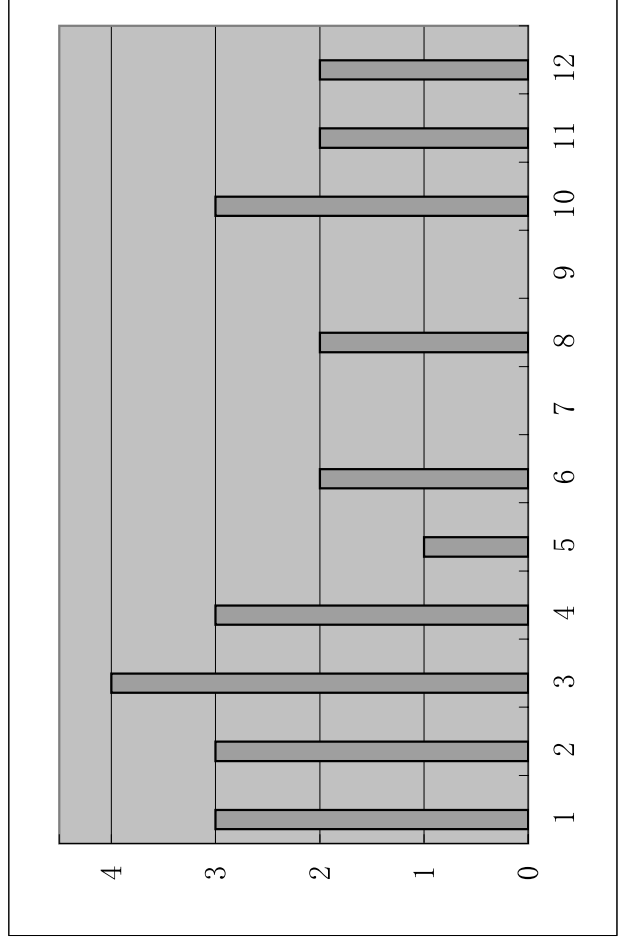
(平成22年1月1日～平成22年12月31日)



(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

10. 月別火災発生状況

(件数)



(件数)

11. 月別管内合計

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

月	火災件数					焼損棟数				焼損面積			死者		り災世帯数			損害額 (千円)											
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
1月	3	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,957	1,944	0	13	0	0	0	0
2月	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	4	4	0	0	0	0	0	6	3	0	1	2	269	0	4	0	1	5	3	1	1	7,452	7,128	71	253	0	0	0	0
4月	3	3	0	0	0	0	0	6	2	1	1	2	255	5	0	0	0	4	2	1	1	6,957	6,957	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	232	0	0	0	0	0	232	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	183	8	0	175	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	3	2	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	364	0	0	0	0	1	0	0	1	109,878	109,878	0	0	0	0	0	0
11月	2	1	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	264	0	0	0	2	1	1	0	2	7,299	7,299	0	0	0	0	0	0
12月	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	851	7	0	844	0	0	0	0
累計	25	13	0	3	0	0	9	19	7	2	2	8	1,152	5	4	0	5	13	6	2	5	134,809	133,221	71	1,285	0	0	232	0

12. 火災・救急・救助以外の出動状況

平成22年1月1日～平成22年12月31日

地域別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
始良	2	2	3	6	2	6	2	1	3	1	3	5	36
加治木	0	2	3	2	3	12	2	1	2	4	1	1	33
蒲生	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	4	6	9	5	19	4	2	5	6	5	6	73

平成22年1月1日～平成22年12月31日

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
処理外火災		1		1	1			1				1	5
自火報鳴動	1			2		5	1		1		1	1	12
怪煙調査		1	2	2	1		1		1	2	1	1	12
油処理				1	1		1			2	1	3	9
捜索		1	2			1			1	1			6
誤報・嘘報										1			1
風水害						2							2
救急応援等						1							1
危険排除				2									2
ガス漏れ													0
その他	1	1	2	1	2	10	1	1	2		2		23
合計	2	4	6	9	5	19	4	2	5	6	5	6	73

※処理外火災とは、枯草火災等で面積が小規模でかつ社会的に影響の少ないものである。

V 救急・救助

1. 救急隊別出場件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別等 救急隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	
消防本部				1											1
中央消防署	3		2	162	12	7	201	7	35	801	257				1,487
始良分遣所	1			62	4	10	147	1	14	532	75				846
蒲生分遣所			1	32	4	2	79		4	278	94			1	495
合 計	4		3	257	20	19	427	8	53	1,611	426			1	2,829

2. 救急隊別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別等 救急隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	
消防本部				1											1
中央消防署	4		2	172	12	6	187	7	20	743	254				1,407
始良分遣所	1			65	4	10	138	1	9	491	75				794
蒲生分遣所			1	32	4	2	77		1	257	94			1	469
合 計	5		3	270	20	18	402	8	30	1,491	423			1	2,671

3. 救急隊別不搬送件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別等 救急隊名	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	
中央消防署				12		1	14		15	58	3				103
始良分遣所				7			10		5	43					65
蒲生分遣所				5			3		3	22					33
合 計				24		1	27		23	123	3				201

4. 曜日別・月別救急出場件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	計
曜 日 別	月	1			46	3	3	70	1	10	242	83				459
	火	1		1	37	4	3	56		7	223	60				392
	水				33	3		51	3	7	209	55				361
	木	1			37	4	5	62	2	7	201	59			1	379
	金			1	39	3	3	69		7	234	91				447
	土	1			28	3	3	48	1	6	251	48				389
	日			1	37		2	71	1	9	251	30				402
計	4		3	257	20	19	427	8	53	1,611	426			1	2,829	
月 別	1月			1	9	2		54		10	165	36				277
	2月	1			18	1		42		3	126	37				228
	3月	1			18	4	2	39	1	6	127	38				236
	4月				22	3		32	2	1	126	50				236
	5月				21	2	1	32	1	3	133	35				228
	6月			1	17	1	2	22	2	3	126	21				195
	7月				22	1	5	34		3	136	29				230
	8月				20		4	43		6	144	36				253
	9月				23	2	1	30		5	115	36			1	213
	10月				25	3	2	20		1	135	35				221
	11月	1		1	28	1	2	34	1	5	113	37				223
	12月	1			34			45	1	7	165	36				289

5. 曜日別・月別搬送人員

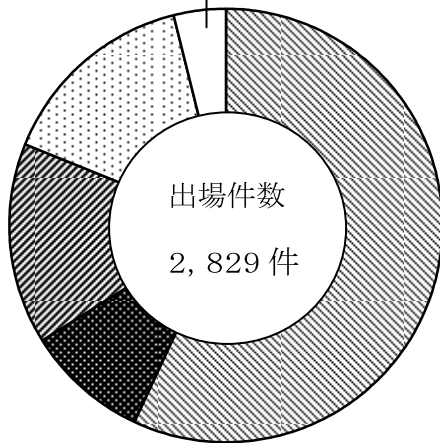
(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
曜 日 別	月	1			49	3	3	61	1	8	226	82	434
	火	1		1	45	4	3	55		1	207	60	337
	水				32	3		50	3	4	197	55	344
	木	2			39	4	4	61	2	4	182	60	358
	金			1	42	3	3	64		4	219	90	426
	土	1			27	3	3	44	1	5	227	48	359
	日			1	36		2	67	1	4	233	29	373
計	5		3	270	20	18	402	8	30	1,491	424	2,671	
月 別	1月			1	8	2		50		6	149	35	251
	2月	1			20	1		38		1	114	35	210
	3月	1			22	4	2	39	1	4	115	38	226
	4月				22	3		31	2		116	50	224
	5月				29	2	1	30	1	1	127	35	226
	6月			1	15	1	2	20	2	2	117	21	181
	7月				23	1	5	33		1	126	29	218
	8月				20		4	41		3	138	36	242
	9月				20	2		28		4	112	37	203
	10月				32	3	2	16		1	124	35	213
	11月	2		1	29	1	2	31	1	3	100	37	207
	12月	1			30			45	1	4	153	36	270

6. 事故種別出場比率表

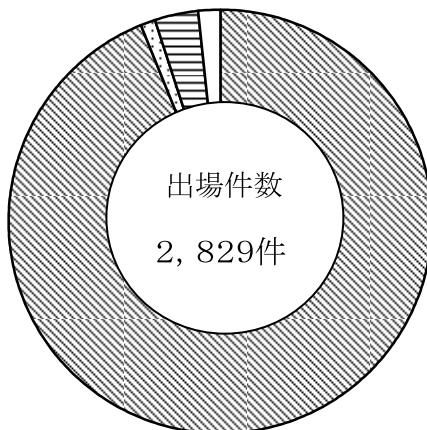
運動競技	19件(0.7%)
自損	53件(1.8%)
労働災害	20件(0.7%)
加害	8件(0.3%)
水難	3件(0.1%)
火災	4件(0.1%)
自然災害	0件(0.0%)

急病	1,611件 (57%)
交通事故	257件 (9.1%)
一般負傷	427件 (15.1%)
転院搬送	427件 (15.1%)



7. 覚知別出場比率表

消防専用 固定	2,656件 (93.9%)
消防専用 携帯	29件 (1.0%)
加入電話	99件 (3.5%)
その他 (その他の内訳)	45件 (1.6%)
かけつけ	17件
道路公団	2件
自己覚知	5件
消防・救急無線	21件



8. 管内・管外別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
管内に住所を有する者	3		2	189	9	10	365	5	27	1,373	311	2,294
管外に住所を有する者	2		1	81	11	8	37	3	3	118	112	376
そ の 他											1	1
計	5		3	270	20	18	402	8	30	1,491	424	2,671

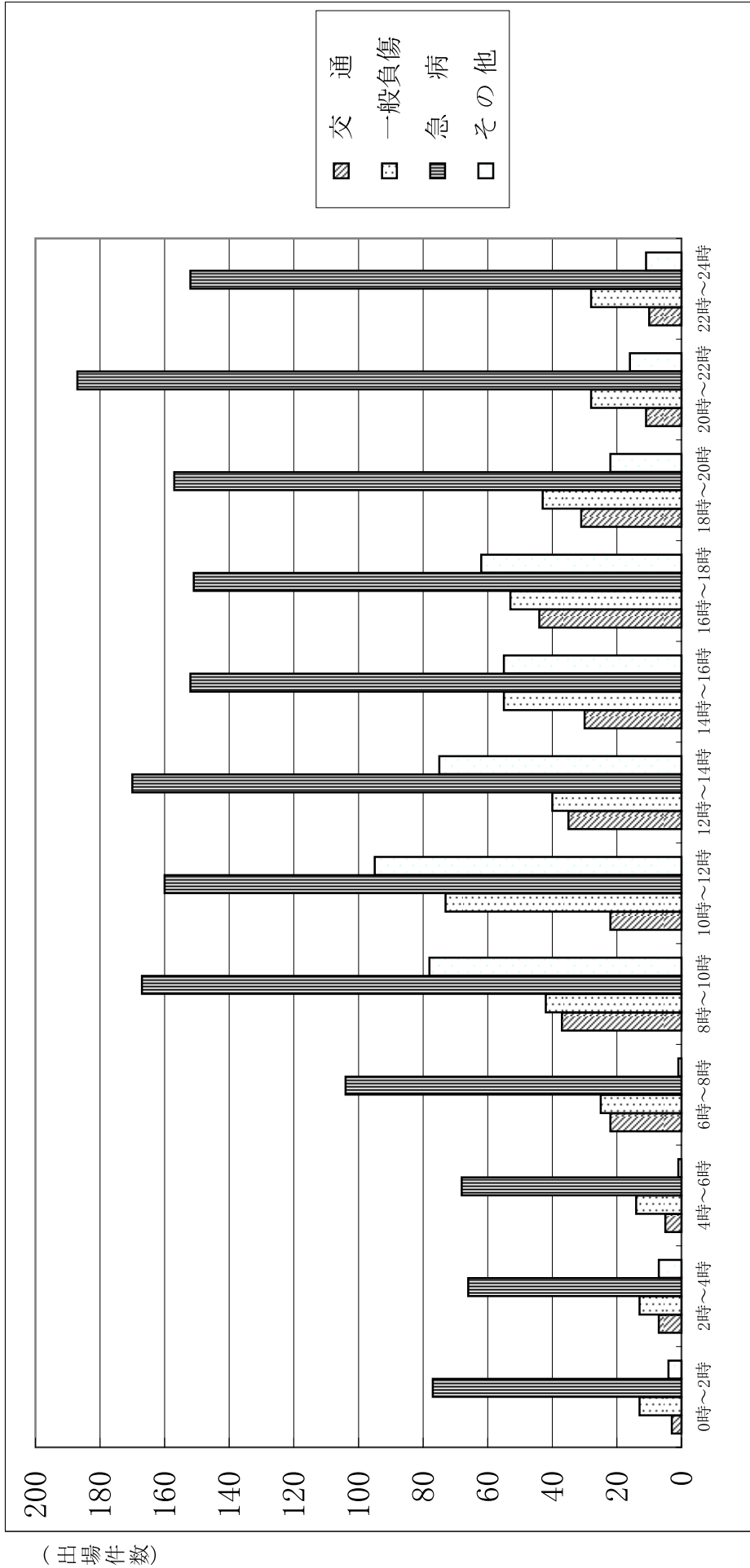
9. 発生場所別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別 区分	住 宅	公衆 出入 場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急 病	1,161	246	25	41	18	1,491
交 通	3	9	1	256	1	270
一般 負傷	268	68	6	35	25	402
そ の 他	34	449	12	5	8	508
計	1,466	772	44	337	52	2,671

10. 時間別救急出場件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)



11. 事故種別・医療機関別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

告示の別等	事故種別等		急病		交通		一般負傷		その他		計		
	開設者別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		
救急告示医療機関	国立		4	4					25	25	29	29	
	公立		75	75	18	18	19	19	97	97	209	209	
	公的		5	5					2	2	7	7	
	私的	病院		1,068	149	217	19	258	26	232	83	1,775	277
		療養所		1	1					8	8	9	9
	計		1,153	234	235	37	277	45	364	215	2,029	531	
その他の医療機関	国立		113	45			5		63	46	181	91	
	公立		16						9		25		
	公的		2	2			2	2			4	4	
	私的	病院		89	28	30	1	97	2	53	21	269	52
		療養所		118	6	5		21	1	19	3	163	10
	計		338	81	35	1	125	5	144	70	642	157	
計	国立		117	49			5		88	71	210	120	
	公立		91	75	18	18	19	19	106	97	234	209	
	公的		7	7			2	2	2	2	11	11	
	私的	病院		1,157	177	247	20	355	28	285	104	2,044	329
		療養所		119	7	5		21	1	27	11	172	19
	計		1,491	315	270	38	402	50	508	285	2,671	688	
その他の場所	接骨院等												
	その他												
	計												
合計		1,491	315	270	38	402	50	508	285	2,671	688		

12. 年齢別・事故種別・男女別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別 年齢区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計	
													男 女 別 計	
0～9	男				5		1	32			63	3	104	159
	女				6			18			24	7	55	
10～19	男				34		9	10	1		17	6	77	133
	女				13		5	5		1	27	5	56	
20～29	男			1	29	2	1	5	1	2	23	7	71	141
	女				16			5		1	32	16	70	
30～39	男	1			18	4	1	7	2	1	40	3	77	165
	女	1			11		1	7	1	7	40	20	88	
40～49	男				24	1		5		1	44	7	82	162
	女				11	1		6	1	8	45	8	80	
50～59	男	1			20	3		19		5	86	27	161	256
	女				15	1		8		2	57	12	95	
60～69	男				7	6		34	1		116	41	205	339
	女	1		1	19	2		17	1	2	82	9	134	
70～79	男	1			11			33			148	48	241	468
	女				11			42			134	40	227	
80～89	男				14			29			188	52	283	673
	女			1	6			76			223	84	390	
90～99	男							14			35	7	56	171
	女							29			65	21	115	
100歳以上	男										1		1	4
	女							1			1	1	3	
年齢不明	男													
	女													
計	男	3		1	162	16	12	188	5	9	761	201	1,358	2,671
	女	2		2	108	4	6	214	3	21	730	223	1,313	

13. 傷病程度別・男女別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別 傷病程度		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計	
													男 女 別 計	
死 亡	男										1	0	1	1
	女													
重 症	男			1	14	4		17		4	85	72	197	364
	女			1	2			32		1	55	76	167	
中 等 症	男	2			41	7	5	74	4	4	400	126	663	1,328
	女	1			23	1	1	102	1	10	388	138	665	
軽 症	男	1			107	5	7	97	1	1	274	3	496	975
	女	1			83	3	5	80	2	10	287	8	479	
そ の 他	男										1		1	3
	女			1								1	2	
計	男	3		1	162	16	12	188	5	9	761	201	1,358	2,671
	女	2		2	108	4	6	214	3	21	730	223	1,313	

14. 救急隊員の行った応急処置件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別	応急処置 傷病程度	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	
						うち 自動	うち 自動	※1	※2		※3	※4				
急病	死亡	1														
	重症	140			5		44		103		1	3	7			3
	中等症	784	3	5					180							41
	軽症	561	11						25							29
	その他	1									1					1
	計	1,487	14	5	5		44		308		1	3	7			74
交通	死亡															
	重症	16	7	10			2		10							1
	中等症	64	5	39					9							4
	軽症	188	7	66												
	その他															
	計	268	19	115			2		19							5
一般負傷	死亡															
	重症	49	4	8			4		8							2
	中等症	175	17	13					11							6
	軽症	176	23	10					4							4
	その他															
	計	400	44	31			4		23							12
その他	死亡															
	重症	159	3	4			6		58							2
	中等症	297	3	6					90							16
	軽症	47	4	1					3							3
	その他															
	計	503	10	11			6		151							21
合計	死亡	1														
	重症	364	14	22			56		179		2	3	9			8
	中等症	1,320	28	63					290							67
	軽症	972	45	77					32							36
	その他	1														1
	計	2,658	87	162			56		501		2	3	9			112

事故種別	応急処置 傷病程度	被覆	在宅療法継続			ショック パンツによる血圧 保持	除細動	静脈路 確保 (輸液)	薬剤投与	その他の 応急処置	血圧測定	聴診器に よる心・ 呼吸音の 聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図	計
			※A	※B	※C										
急病	死亡								1					1	2
	重症						4	1	119	101	47	111	85	676	
	中等症	6	5		5				687	768	144	782	162	2794	
	軽症	3							460	533	53	551	63	1728	
	その他														2
	計	9	5		5	4	1		1,267	1,402	244	1,444	311	5,202	
交通	死亡														
	重症	11							13	13	7	14	4	95	
	中等症	19							55	62	19	62	3	277	
	軽症	42							148	178	30	184	2	657	
	その他														
	計	72							216	253	56	260	9	1,029	
一般負傷	死亡														
	重症	3							43	44	7	46	7	181	
	中等症	38							146	171	8	173	8	592	
	軽症	58							136	150	7	166	1	559	
	その他														
	計	99							325	365	22	385	16	1,332	
その他	死亡														
	重症	4					1		139	144	12	151	44	580	
	中等症	7							236	270	20	288	39	979	
	軽症	9							39	43	1	47	1	151	
	その他														
	計	20					1		414	457	33	486	84	1,710	
合計	死亡														
	重症	18					2		314	302	73	322	140	1,532	
	中等症	70	5		5		4		1,124	1,271	191	1,305	212	4,642	
	軽症	112							783	904	91	948	67	3,095	
	その他														2
	計	200	5		5		4		2,222	2,477	355	2,575	420	9,273	

(注) 1. 本表は、傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った救急処置について、その処置の対象となった傷病者の数及び処置件数記載してあります。
2. 気道確保の欄の※1は、経鼻エアウェイを使用。※2は、喉頭鏡・鉗子を使用して異物除去。※3は、救急救命士がラリゲアルマスク等を使用。※4は、気管挿管
3. 在宅療法継続欄 ※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った数。※Bは、気管切開孔又は、気管挿管・人工肛門等の外傷が施されている傷病者に対して応急処置を行った数。※Cは、※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った数。

15. 現場到着所要時間別出場件数

(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

現場到着 事故種別	3 分 未 満	3 分 以 上	5 分 未 満	5 分 以 上	10 分 未 満	10 分 以 上	20 分 未 満	20 分 以 上	計	現場到着最短 所要時間(分)	現場到着最長 所要時間(分)	現場到着平均 所要時間(分)
急病	48	390	974	181	18	1,611	1	33	6.5			
交通	16	88	115	36	2	257	1	21	6.3			
一般負傷	14	110	253	44	6	427	1	32	6.3			
その他	42	141	259	89	3	534		24	6.5			
計	120	729	1,601	350	29	2,829		33	6.4			

16. 収容所要時間別搬送人員

(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

収容所要時 事故種別	10 分 未 満	10 分 以 上	20 分 未 満	20 分 以 上	30 分 未 満	30 分 以 上	60 分 未 満	60 分 以 上	120 分 未 満	120 分 以 上	計	収容最短所要時間(分)	収容最長所要時間(分)	収容平均所要時間(分)		
	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外								
急病	1	351	1	562	14	515	254	60	45	2	1	1,491	315	7	174	30.0
交通		68		103	1	88	26	11	11			270	38	11	90	29.1
一般負傷		134		141	1	110	36	17	13			402	50	10	110	28.0
その他	5	111		105	26	272	247	15	12			508	285	6	113	32.8
計	6	664	1	911	42	985	563	103	81	2	1	2,671	688	6	174	30.1

17. 事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
新 生 児	死 亡											2	2
	重 症										1	4	5
	中 等										1		1
	軽 症 そ の 他										2	6	8
計													
乳 幼 児	死 亡				1			1				1	3
	重 症							4			16	1	21
	中 等				6			41			54		101
	軽 症 そ の 他												
計				7			46			70	2	125	
少 年	死 亡										1	2	3
	重 症				7		4	5	1		16	5	38
	中 等				31		10	11			35	1	88
	軽 症 そ の 他												
計				38		14	16	1		52	8	129	
成 人	死 亡			1	12	4		5		5	37	44	108
	重 症	1			38	6	2	34	4	14	213	81	393
	中 等	2			124	7	2	46	3	11	215	6	416
	軽 症 そ の 他												
計	3		1	174	17	4	85	7	30	465	131	917	
老 人	死 亡			1	3			43			1		1
	重 症	2			19	2		133			102	99	248
	中 等				29	1		79			542	173	871
	軽 症 そ の 他			1							257	4	370
計	2		2	51	3		255			902	277	1,492	
合 計	死 亡			2	16	4		49		5	1		1
	重 症	3			64	8	6	176	5	14	140	148	364
	中 等	2			190	8	12	177	3	11	788	264	1,328
	軽 症 そ の 他			1							561	11	975
計	5		3	270	20	18	402	8	30	1,491	424	2,671	

18. 過去5か年の出場状況

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

年	事故種別等	出場件数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	協定搬送
平成18年		2,665	4		4	251	16	23	321	19	28	1,443	556	
平成19年		2,808	3	2	3	309	19	21	360	12	47	1,504	528	
平成20年		2,693	1	1	3	286	21	39	346	20	35	1,411	530	
平成21年		2,736	4		4	265	17	24	376	15	43	1,482	506	
平成22年		2,829	4		3	257	20	19	427	8	53	1,611	427	

19. 出場先別出場件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

年	事故種別等	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
旧始良町		3			131	9	11	253	2	34	907	225			1	1,576
旧加治木町				2	87	8	6	105	6	16	471	177				878
旧蒲生町		1		1	33	3	2	69		3	232	24				368
鹿児島市					2						1					3
霧島市																
薩摩川内市																
高速道路					4											4
合計		4		3	257	20	19	427	8	53	1,611	426			1	2,829

20. 出場先別搬送人員

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別等 市町名	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
旧始良町	4			134	9	11	237	2	19	844	225			1	1,486
旧加治木町			2	95	8	5	99	6	11	431	174				831
旧蒲生町	1		1	36	3	2	66			215	24				348
鹿児島市				2						1					3
霧島市															
薩摩川内市															
高速道路				3											3
合計	5		3	270	20	18	402	8	30	1,491	423			1	2,671

21. 出場先別不搬送件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

事故種別等 市町名	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
旧始良町				12			17		15	65					109
旧加治木町				7		1	6		5	40	3				62
旧蒲生町				4			4		3	18					29
鹿児島市															
霧島市															
薩摩川内市															
高速道路				1											1
合計				24		1	27		23	123	3				201

22. 管内病院等情報

■始良地区

(平成23年4月1日現在 併科…2科以上の病院・医院)

病 院 ・ 診 療 所 名	診 療 科 目	ベ ッ ド 数	備 考
青 雲 会 病 院	併 科	136	救急告示医療機関
希 望 ケ 丘 病 院	併 科	90	
野 元 内 科 医 院	内 科 ・ 小 児 科	0	
クオラリハビリテーション病院あいら	併 科	60	
こ ども クリニック山崎	小 児 科	0	
尾 田 内 科 胃 腸 科	併 科	19	
山 下 わ た る 内 科	併 科	19	
徳 重 医 院	併 科	0	
久 永 医 院	併 科	15	
内 倉 外 科 医 院	併 科	0	
始 良 市 立 北 山 診 療 所	内 科 ・ 小 児 科	0	
県 立 始 良 病 院	併 科	340	
中 西 医 院	併 科	0	
よ し だ 内 科 クリニック	併 科	0	
竹内レディースクリニック	産 婦 人 科	19	
朝 日 ケ 丘 クリニック	併 科	13	
前 田 皮 膚 科	皮 膚 科	0	
田 中 眼 科 医 院	眼 科	0	
池 畑 内 科 医 院	併 科	0	
あ い ら 小 児 科	小 児 科	0	
荒 武 整 形 外 科 クリニック	併 科	0	
耳鼻咽喉科おおのクリニック	耳 鼻 咽 喉 科	0	
た け うち クリニック	併 科	19	
川原腎泌尿器科クリニック	泌 尿 器 科	17	
クオラクリニックあいら	併 科	0	
ひふ科形成外科西クリニック	皮 膚 科	0	
や な せ 整 形 外 科	整 形 外 科	19	
こまき内科循環器科クリニック	併 科	0	
中 馬 クリニック	内 科 ・ 消 化 器 科	0	
錦 江 クリニック	併 科	19	
河 俣 内 科	併 科	0	
な が た 脳 神 経 科	脳 神 経 外 科	0	
た か ひ ろ 眼 科	眼 科	0	
い わ つ ぼ 耳 鼻 咽 喉 科	耳 鼻 咽 喉 科	0	
で ぐ ち 耳 鼻 咽 喉 科	耳 鼻 咽 喉 科	0	
有 村 クリニック	内 科	0	

■加治木地区

病 院 ・ 診 療 所 名	診 療 科 目	ベ ッ ド 数	備 考
大 井 病 院	併 科	119	救急告示医療機関
フ ィ オ ー レ 第 一 病 院	産 婦 人 科	26	
独立行政法人国立病院機構南九州病院	併 科	475	
徳 重 ク リ ニ ッ ク	併 科	4	
西 眼 科 医 院	眼 科	0	
加 治 木 記 念 病 院	併 科	200	
松 元 外 科 胃 腸 科 医 院	併 科	19	
川 畑 内 科 医 院	併 科	8	
加 治 木 温 泉 病 院	併 科	350	
すこやかクリニック(鬼丸小児科)	小 児 科	0	
加 治 木 整 形 外 科 病 院	併 科	51	
港 町 ク リ ニ ッ ク	併 科	0	
ザ 王 病 院	併 科	146	
松 下 亮 治 内 科	併 科	0	
加 治 木 中 央 ク リ ニ ッ ク	併 科	19	
浜 崎 ク リ ニ ッ ク	内 科	0	
お ぼ た 泌 尿 器 科 ・ ひ ふ 科	併 科	0	
西 園 耳 鼻 咽 喉 科 ク リ ニ ッ ク	耳 鼻 咽 喉 科	0	
川 島 ク リ ニ ッ ク	併 科	0	
さ ん の う 内 科	内 科	0	
四 本 信 一 皮 膚 科	皮 膚 科	0	
な か む ら 小 児 科	小 児 科	0	
しらたにメンタルクリニック	併 科	0	
加 治 木 白 石 眼 科 医 院	眼 科	0	
始 良 み や も と 眼 科	眼 科	0	
しあわせの杜クリニック	併 科	0	
や ま の ク リ ニ ッ ク	併 科	0	

■ 蒲生地区

病 院 ・ 診 療 所 名	診 療 科 目	ベ ッ ド 数	備 考
原 田 内 科	内 科 ・ 循 環 器 科	9	
伊 地 知 医 院	併 科	9	
吉 留 ク リ ニ ッ ク	併 科	19	

23. 救助活動状況

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

区分	事故種別								
	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他	合計
出動件数	41	6		2	1			39	89
活動件数	31	6		2	1			32	72

24. 事故種別発生場所出動件数

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

区分	事故種別										
	火災	交通事故	水難事故	自然事故	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他	合計	
屋内	住居					1	1			24	26
	その他の屋内					1				1	2
屋外	道路	高速		6							6
		その他の道路		31						1	32
	水面			2	6					3	11
	その他			2						10	12
計				41	6		2	1		39	89

VI 予 防

予
防

1. 防火対象物現況

(平成23年3月31日現在)

令 別 表 区 分			計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1
	ロ	公会堂・集会場	32
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	10
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための施設	1
3	イ	待合・料理店等	
	ロ	飲食店	42
4		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	111
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	11
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	140
6	イ	病院・診療所・助産所	70
	ロ	老人短期入所施設・障害者支援施設等	32
	ハ	軽費老人ホーム・児童養護施設等	39
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9
7		小学校・中学校・高等学校・大学等	37
8		図書館・博物館・美術館等	8
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場	2
11		神社・寺院・教会等	19
12	イ	工場・作業場	135
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	8
	ロ	飛行機、回転翼飛行機の格納庫	
14		倉庫	36
15		前各項に該当しない事業所	111
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物	63
	ロ	上記以外の複合用途対象物	19
17		文化財等	
18		延長50m以上のアーケード	
合 計			941

2. 階層別防火対象物の現況

(平成23年3月31日現在)

令別表区分		階別	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1							1
	ロ	公会堂・集会場	4							4
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	1							1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための施設								
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	3	1						4
4		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	8		1					9
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	2		1					3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	32	13	11		1	1	1	59
6	イ	病院・診療所・助産所	13	4		1				18
	ロ	老人短期入所施設・障害者支援施設等	2	3						5
	ハ	軽費老人ホーム・児童養護施設等	1		1					2
	ニ	幼稚園・特別支援学校								
7		小学校・中学校・高等学校・大学等	14	4						18
8		図書館・博物館・美術館等	1							1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場								
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場								
11		神社・寺院・教会等	2							2
12	イ	工場・作業場	7			1				8
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	2							2
	ロ	飛行機、回転翼飛行機の格納庫								
14		倉庫	1							1
15		前各項に該当しない事業所	11	5	1		1			18
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物	18	3	5		1	1		28
	ロ	上記以外の複合用途対象物	3	2	2					7
17		文化財等								
18		延長50m以上のアーケード								
合 計			126	35	22	2	3	2	1	191

3. 予防査察実施状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

令 別 表 区 分			実施回数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	3
	ロ	公会堂・集会場	29
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための施設	1
3	イ	待合・料理店等	1
	ロ	飲食店	36
4		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	107
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	9
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	24
6	イ	病院・診療所・助産所	61
	ロ	老人短期入所施設・障害者支援施設等	13
	ハ	軽費老人ホーム・児童養護施設等	34
	ニ	幼稚園・特別支援学校	7
7		小学校・中学校・高等学校・大学等	32
8		図書館・博物館・美術館等	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場	
11		神社・寺院・教会等	16
12	イ	工場・作業場	116
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	6
	ロ	飛行機、回転翼飛行機の格納庫	
14		倉庫	23
15		前各項に該当しない事業所	99
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物	44
	ロ	上記以外の複合用途対象物	14
17		文化財等	
18		延長50m以上のアーケード	
合 計			694

4. 危険物施設の数量及び類別状況

(平成23年3月31日現在)

製造所等の別 数量別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所				
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
計	175		11	32	1	40		12	7	54			1	17
指定数量別	5倍以下	54		5	15	1	15		3	3	4			8
	5倍を超え 10倍以下	38		2	9		13			3	6			5
	10倍を超え 50倍以下	44		4	3		12		6	1	16			2
	50倍を超え 100倍以下	6							3		3			
	100倍を超え 150倍以下	7									7			
	150倍を超え 200倍以下	5									5			
	200倍を超え 1000倍以下	18			3						13			2
	1000倍を超え 5000倍以下	2			2									
	5000倍を超え 10000倍以下	1											1	
10000倍を 超えるもの														

5. 危険物関係施設の査察実施状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

施設別	査察実施数	査察延回数	備考
給油取扱所	46	46	
一般取扱所	12	12	
屋内貯蔵所	7	7	
屋外貯蔵所	5	5	
屋外タンク貯蔵所	16	16	
移動タンク貯蔵所	13	13	
地下タンク貯蔵所	37	37	
簡易タンク貯蔵所	0	0	
屋内タンク貯蔵所	0	0	
移送取扱所	1	1	
合計	137	137	

6. 各種届出処理状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

件名	煙火打ち上げ	林火災と野まぎらわし入届出	少量危険物届出	液圧縮石化セチレンガス届出	ボカイマラード設置届出	消防用設備等着工届出	変蓄電設備等届出	水素ガス気球の設置届出	防火対象物使用開始届出	計
件数	45	129	4	47	8	51	16		36	336

7. 防火訓練等実施回数

(平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位：回、人)

対象物	署・所別		中央消防署		始良分遣所		蒲生分遣所		合計	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
百貨店・マーケット	22	375	22	236	7	68	51	679		
旅館・ホテル	2	21					2	21		
病院・養護施設	72	2,400	25	1,301	16	583	113	4,284		
保育園・幼稚園	33	2,641	12	1,477	3	575	48	4,693		
学 校	49	10,445	7	2,966	3	2,728	59	16,139		
工場・作業場	2	26	6	222	4	317	12	565		
官 公 署	8	576	4	117	6	180	18	873		
その他の事業所	57	834	23	247	13	140	93	1,221		
地域町内会等	14	657	23	625	14	336	51	1,618		
合 計	259	17,975	122	7,191	66	4,927	447	30,093		

8. 消防クラブ結成状況

消防クラブ名	発足年月日	人員	所在地
川野保育所幼年消防隊	昭和59. 8. 1	50	始良市加治木町木田 757
増田婦人防火クラブ	昭和59. 9. 5	22	始良市増田 630-10
建昌保育園幼年消防クラブ	昭和59. 10. 30	28	始良市東餅田 2608
大楠ちびっこ園 幼年消防クラブ	昭和60. 10. 8	55	始良市蒲生町上久徳 1194-18
ひまわり保育園幼年消防隊	昭和62. 4. 1	12	始良市加治木町木田 1882
高井田保育園幼年消防隊	昭和62. 6. 1	35	始良市加治木町木田 4872-2
かずみ保育園幼年消防隊	昭和62. 7. 21	45	始良市加治木町反土 1420-1
啓明幼稚園幼年消防隊	平成 2. 6. 26	61	始良市池島 31-7
薫光幼稚園幼年消防隊	平成 2. 6. 26	35	始良市東餅田 3158
西浦小学校少年消防クラブ	平成10. 6. 10	19	始良市蒲生町西浦 813
漆小学校少年消防クラブ	平成10. 6. 13	12	始良市蒲生町漆 317

Ⅶ 消 防 団

1. 消防団現勢

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

区 分	人 員			機 械			
	分団数	定 員	実 員	水槽付消 防ポンプ 自動車	消防ポン プ自動車	小型ポン プ付積載 自動車	小型動力 ポンプ
計	15	541	489	2	14	34	23

2. 年齢別消防団員数（実員）

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

20 歳未満	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳以上	計	平均年齢
1	58	103	98	179	58	497	46.3

3. 在籍年数別消防団員数（実員）

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上	計
128	76	91	89	65	33	15	497

4. 消防団員の費用弁償

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

種 別	費用弁償額（1 日につき）
災害出動（水・火災等）訓練・警戒	5,000 円
会議	4,000 円

5. 団員等年報酬状況（年）

（平成 23 年 4 月 1 日現在）

区 分	金 額
団 長	1 6 2, 0 0 0 円
副 団 長	1 6 2, 0 0 0 円
方 面 隊 長	1 2 0, 0 0 0 円
分 団 長	9 0, 0 0 0 円
副 分 団 長	6 6, 0 0 0 円
部 長	5 7, 0 0 0 円
班 長	5 1, 0 0 0 円
団 員	4 8, 0 0 0 円

6. 消防団幹部一覧表

(平成23年4月1日現在)

団長	副団長	方面隊長	分団名	部 名	分団長名
七反田 正勝	川原 正三 高山 和則	始良方面隊 有村 信行	市役所分団	本 部	享 保 博 昭
			重 富 分 団	脇 元	村 田 哲 哉
				平 松	北 恭 次
			始 良 分 団	建 昌	犬 伏 幸 久
				松 原	黒 木 博 和
			帖 佐 分 団	三 叉	上 野 洋 一 日 高 正 雄
				米 山	
				船 津	
			山 田 分 団	下 名	松 木 幸 一
				上 名	向 江 富 男
				大 山	佃 昇 治
			北 山 分 団	北 山	山 口 忠 昭
		木津志		有 村 範 夫	
		加治木方面隊 宇都 和義	加治木分団	中 央	林 時 治
			錦 江 分 団	錦 江	戎 孝
			永 原 分 団	西別府	上 村 文 男
				辺 川	
		東 部 分 団	小山田	三 宅 利 秋	
			中 野		
		蒲生方面隊 東村 和昭	蒲 生 分 団	役 場	坂 元 勉
			大 楠 分 団	城	金 丸 浩 一
				中 央	
			友 徳 分 団	川 東	南 律 也
				下久徳	小 城 守
				米 丸	邊 田 立 身
			白 男 分 団	新 留	出 水 透
				白 男	岩 下 一 彦
			上 場 分 団	大 山	吉 元 一 行
				西 浦	原 田 良 孝
				漆	福 留 政 弘

7. 消防団の人員機械配置一覧表

平成23年4月1日現在 (単位:人,台)

方面名	分 団 名	部 名	人 員	水槽付消防 ポンプ自動車	消防ポンプ 自 動 車	小型ポンプ付 積載自動車	小型動力 ポ ン プ
	団 本 部		6				
始 良 方 面 隊	市役所分団	本 部	15	1	1		1
		重 富 分 団	脇 元	18		1	
	平 松		17		1		1
	始 良 分 団	建 昌	20		1		1
		松 原	17		1		1
	帖 佐 分 団	三 叉	17			1	1
		米 山	16		1		1
		船 津	13			1	1
	山 田 分 団	上 名	15			1	1
		下 名	17		1		1
		大 山	9		1		1
	北 山 分 団	北 山	20			3	3
		木津志	13			1	1
	加 治 木 方 面 隊	加 治 木 分 団	中 央	29	1	1	1
錦 江 分 団		錦 江	38		1	1	1
永 原 分 団		西別府	22		1		1
		辺 川	17			1	1
東 部 分 団		小山田	16		1		1
	中 野	13			1	1	
蒲 生 方 面 隊	蒲 生 分 団	役 場	16		1	2	3
	大 楠 分 団	城	16			1	1
		中 央	14		1	1	1
	友 徳 分 団	川 東	15			1	1
		下久徳	13			1	1
		米 丸	9			1	1
	白 男 分 団	新 留	12			1	1
		白 男	15			1	1
		大 山	11			1	1
	上 場 分 団	西 浦	17			1	1
漆		12		1	1	1	
合 計			489	2	14	24	34

Ⅷ 付 録

1. 組合設立までのあらまし

年	月	概	要
昭和43年	7月	一部事務組合による常備消防設置について、加治木町より提案されたが、時期尚早で立ち消えとなる	
昭和45年	5月	交通事故の増加により、加治木町、始良町、蒲生町及び溝辺町の町長間で常備消防設置について検討が始まる	
昭和45年	10月	常備消防設置に関する正式協議が開催される	
昭和45年	11月	常備消防設置準備会議が開催される	
昭和45年	12月	組合設立委員会発足	
昭和46年	1月	組合設立委員会において組合設立についての原案作成が完了する	
昭和46年	3月	蒲生町議会可決を最後に四町とも可決し、組合設立が正式に決定し、組合設立許可申請を鹿児島県に提出	
昭和46年	4月	組合設立について鹿児島県知事の許可を受ける	

2. 消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）

年	月	日	概	要
昭和46年	4月	1日	初代管理者兼初代消防長に曾木隆輝加治木町長就任 消防吏員5人採用	
昭和46年	5月	1日	加治木町役場に消防本部を置き消防吏員1人加治木町より出向	
昭和46年	8月	18日	日本消防協会より救急自動車の寄贈を受ける	
昭和46年	10月	1日	事務吏員1人始良町より出向、消防吏員32人採用	
昭和47年	2月	29日	消防無線基地局1、移動局3を設置	
昭和47年	3月	23日	ジープ型消防ポンプ自動車3台を購入	
昭和47年	4月	1日	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける 第2代消防長に下猶篤男就任 仮設の本部、署1、分遣所2、消防ポンプ車3台、救急車1台にて 消防業務の実働を始める 消防吏員8人採用、1人加治木町から出向	
昭和47年	4月	18日	指令車購入（救急車の兼用可）	
昭和47年	5月	31日	蒲生分遣所庁舎完成	
昭和47年	6月	20日	加治木町大英建設より救急車（トヨタハイエース）1台の寄贈を受ける	
昭和47年	7月	12日	消防無線移動局3局増設	
昭和47年	8月	10日	消防本部・消防署庁舎落成	
昭和47年	9月	15日	溝辺分遣所庁舎落成	

昭和47年12月18日	水槽付消防ポンプ車（いすゞ・ガソリン車）1台購入し本署に配置
昭和48年 2月 1日	事務吏員女子1人採用
昭和48年 3月 9日	生命保険協会より救急車1台寄贈を受ける
昭和48年 4月 1日	消防吏員8人採用
昭和48年 6月25日	消防無線移動局（携帯用）3局購入
昭和48年12月18日	日本道路公団より救急車（消防無線付）2台寄贈を受ける
昭和48年12月26日	消防無線移動局2局購入
昭和49年 3月19日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
昭和49年 9月 2日	消防無線基地局（蒲生・溝辺分遣所）2局増設
昭和49年11月10日	消防無線移動局（携帯用）4局購入
昭和49年12月 9日	初代管理者曾木隆輝加治木町長退任
昭和49年12月11日	第2代管理者に東國男加治木町長就任
昭和49年12月31日	第2代消防長下猶篤男退任
昭和50年 1月 1日	第3代消防長に坂元満男消防長就任
昭和52年 7月 5日	日本消防協会より広報車1台寄贈を受ける
昭和53年 3月31日	第3代消防長坂元満男退任
昭和53年 4月 1日	第4代消防長に右田光男就任
	消防吏員10人採用
昭和53年10月 1日	消防吏員9人採用
	溝辺分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和54年 4月16日	会計事務職員1人採用
昭和55年 3月 1日	小型ポンプ付積載車1台購入し本署に配置する
昭和55年 3月31日	消防無線移動局・携帯局各1台購入
昭和55年11月26日	スーパータイヨーより救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和56年 3月20日	小型ポンプ付積載車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和56年 6月 9日	救助用訓練塔（7m）本署に設置
昭和56年 7月 9日	消防無線携帯局1局購入し蒲生分遣所に配備する
昭和56年12月28日	小型ポンプ付積載車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和57年10月 1日	蒲生分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和57年12月 3日	消防無線移動局2局増設し消防本部及び本署に配備する
昭和57年12月 6日	日本自動車工業会より救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年 1月25日	水槽付消防ポンプ車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和58年 7月31日	第4代消防長右田光男退任
昭和58年 8月 1日	第5代消防長に村岡創造就任
昭和58年11月29日	スーパータイヨーより救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年12月27日	水槽付消防ポンプ車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和59年 2月20日	消防無線携帯局3局増設し本署及び蒲生分遣所に配備する
昭和59年12月 6日	徳重ガラス店より救急車1台の寄贈を受け蒲生分遣所に配置する

昭和60年	2月26日	竹下喜久子氏より救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和60年	3月1日	救助用訓練塔溝辺分遣所に設置
昭和60年	3月18日	救助工作車1台を購入し本署に配置する
昭和60年	3月30日	消防無線携帯局2局増設し本署に配備する
昭和60年	5月20日	鹿児島県安全運転管理協議会より優良事業所表彰を受ける
昭和61年	4月28日	山下為美氏より救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和61年	6月1日	消防吏員1人採用(中途退職補充)
昭和61年	7月18日	始良郡西部地区危険物安全協会設立
昭和61年	12月9日	第2代管理者東國男加治木町長退任
昭和61年	12月15日	第3代管理者に西野繁始良町長就任
昭和61年	12月31日	第5代消防長村岡創造退任(始良町へ転出)
昭和62年	1月1日	第6代消防長に木場政昭就任
昭和62年	3月31日	第6代消防長木場政昭退任 消防無線携帯局2局増設し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
昭和62年	4月1日	第7代消防長に迫屋清治就任 消防吏員2人採用(退職補充)
昭和63年	3月8日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する 消防無線固定局1局・基地局1局予備を増設し本署に配備する
昭和63年	3月28日	消防無線携帯局2局更新し本署及び溝辺分遣所に配備する
昭和63年	7月20日	始良郡西部地区防火管理者等協議会設立
平成元年	3月23日	消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
平成元年	3月31日	消防無線移動局2局(10w)更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の小型ポンプ付積載車に配備する 蒲生分遣所救助用訓練塔及び消防用ホース乾燥塔完成(更新)
平成元年	4月1日	消防吏員1人採用(退職補充)
平成2年	2月1日	川田スミ氏よりレスキューツール(救助資機材)1式寄贈を受け救助工作車に配備する
平成2年	3月7日	小型ポンプ付積載車1台を購入し本署に配置する
平成2年	3月31日	第7代消防長迫屋清治退任
平成2年	4月1日	第8代消防長に雨乞信就任 消防吏員1人採用(退職補充)
平成3年	1月22日	第3代管理者西野繁始良町長退任
平成3年	1月31日	第4代管理者に櫛山和實始良町長就任
平成3年	4月1日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の水槽付消防ポンプ車に配備する
平成3年	5月1日	本署救助用訓練塔(更新)完成
平成3年	11月13日	始良郡西部消防組合創立20周年記念式典
平成4年	1月10日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する

平成 4年 3月 30日	溝辺分遣所消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成 4年 4月 1日	消防吏員 1人採用（退職補充） 鹿児島県消防相互応援協定覚書締結
平成 4年 8月 28日	組合規約第 10 条関係変更届出
平成 4年 12月 25日	消防職員定数条例改正（職員定数 81人）
平成 5年 1月 20日	溝辺分遣所救助用訓練塔完成（更新）
平成 5年 2月 3日	小型ポンプ付積載車 1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成 5年 2月 25日	日本自動車工業会より救急車 1台の寄贈を受け本署に配置する
平成 5年 4月 1日	消防吏員 5人採用（退職補充 1人、新規採用 4人）
平成 5年 5月 26日	鹿児島郡吉田町から消防組合加入の要望書が提出される
平成 5年 6月 5日	消防無線移動局 2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
平成 5年 8月 23日	日本消防協会から指令車 1台の寄贈を受け消防本部警防課に配置する
平成 5年 9月 7日	消防組合臨時議会（鹿児島郡吉田町の消防組合加入について議決）
平成 5年 10月 18日	消防職員定数条例改正（職員定数 107人）
平成 5年 10月 25日	鹿児島郡吉田町の消防組合加入に関する協議書覚書調印
平成 6年 3月 1日	消防無線移動局 2局更新し本署に配備する
平成 6年 3月 18日	広報車 1台更新し消防本部総務課に配置する
平成 6年 4月 1日	鹿児島県知事から消防組合規約変更許可（鹿児島郡吉田町の消防組合加入） 消防吏員 24人採用（鹿児島郡吉田町加入による増員 20人、条例改正による増員 4人） 水槽付消防ポンプ車 1台、小型ポンプ付積載車 1台、救急車 1台、消防無線基地局 1局、移動局 3局、携帯局 4局購入し吉田分遣所に配備する
平成 6年 9月 29日	吉田分遣所落成式典
平成 6年 9月 30日	救急車 1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成 6年 10月 1日	吉田分遣所消防業務開始（消防吏員 18人配置）
平成 6年 12月 26日	本署消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成 7年 1月 27日	第 4 代管理者櫛山和實始良町長再任
平成 7年 3月 29日	吉田分遣所ロープ渡過施設完成
平成 7年 4月 1日	消防吏員 3人採用（退職補充 1人、条例改正による増員 2人）
平成 7年 6月 22日	小型動力ポンプ 1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成 7年 7月 17日	救急車 1台、消防無線移動局 1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成 7年 8月 8日	消防無線携帯局 2局更新し本署及び蒲生分遣所に配置する
平成 7年 12月 22日	消防無線基地局 1局更新し蒲生分遣所に配置する
平成 8年 2月 6日	消防無線基地局 1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成 8年 4月 1日	消防吏員 2人採用（退職補充 2人）

平成 8年 8月 5日	消防職員定数条例改正（職員定数118人）
平成 8年 8月 8日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び蒲生分遣所1局配置する
平成 8年11月25日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し蒲生分遣所に配置する 消防無線基地局1局更新し本署に配置する
平成 9年 3月31日	第8代消防長雨乞信退任
平成 9年 4月 1日	第9代消防長に猶木龍美就任 消防吏員12人採用（退職補充1人、条例改正による増員11人）
平成 9年10月 6日	消防吏員1人中途退職
平成 9年11月19日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成10年 3月23日	小型ポンプ付積載車1台を購入し始良分遣所に配置する
平成10年 3月27日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び溝辺分遣所1局配置する 消防無線設備を始良分遣所に配備する（受信機1台、携帯局2局）
平成10年 4月 1日	始良分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置） 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成10年10月13日	救急車1台を更新し中央消防署に配置する
平成11年 1月22日	第4代管理者櫛山和實始良町長退任
平成11年 1月29日	第5代管理者に福元久夫始良町長就任
平成11年 3月30日	日本消防協会より救急車1台寄贈を受け始良分遣所に配置する
平成11年 4月 1日	消防緊急通信指令施設運用開始
平成11年11月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し始良分遣所に配置する
平成11年11月16日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成12年 3月31日	第9代消防長猶木龍美退任
平成12年 4月 1日	第10代消防長に森田峯一消防長就任
平成12年10月30日	訓練指導車1台を更新し消防本部警防課に配置する
平成13年 2月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 2月16日	高規格救急車を1台購入し中央消防署に配置する
平成13年 4月 1日	救急救命士による高規格救急車運用開始 蒲生分遣所新築移転し消防業務を開始
平成13年 7月19日	救助工作車1台、小型ポンプ付積載車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 8月16日	加治木ライオンクラブより消防用ホース5本寄贈を受ける
平成14年 4月 1日	溝辺分遣所新築移転し消防業務を開始 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成14年11月18日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成14年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成15年 4月 1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成16年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成16年11月 1日	鹿児島郡吉田町が消防組合を脱退し鹿児島市と合併（消防吏員10

	人鹿児島市へ転出)
平成17年 3月25日	資機材搬送車1台購入し中央消防署に配置する
平成17年 3月31日	第10代消防長森田峯一退任
平成17年 4月 1日	第11代消防長に垂内猛志就任
平成17年 8月19日	集団災害用エアートント購入し中央消防署に配置する
平成17年10月19日	消防緊急通信指令施設で携帯電話119番直接受信開始
平成17年11月 7日	始良郡溝辺町が消防組合を脱退し国分市、隼人町、牧園町、霧島町、横川町及び福山町と合併し霧島市となる(消防吏員14人霧島市へ転出)
平成18年 3月 5日	第5代管理者福元久夫始良町長急逝
平成18年 3月17日	高規格対応型救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成18年 5月 8日	第6代管理者に厚地和幸蒲生町長就任
平成18年 7月28日	査察車1台を更新し消防本部予防課に配置する
平成18年10月24日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成19年 4月 1日	消防吏員3人採用(退職補充3人)
平成19年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成19年10月31日	第11代消防長垂内猛志退任(始良町へ転出)
平成19年11月 1日	第12代消防長に池山史郎就任
平成19年12月20日	指揮車1台更新し中央消防署に配置する
平成20年 4月 1日	消防吏員3人採用(退職補充3人)
平成21年 4月 1日	消防吏員3人採用(退職補充3人)
平成21年 9月30日	第12代消防長池山史郎退任(始良町へ転出)
平成21年10月 1日	第13代消防長に宮原千年就任
平成21年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成22年 1月15日	高規格救急自動車1台更新し始良分遣所に配置する
平成22年 3月22日	始良郡西部消防組合解散(加治木町、始良町及び蒲生町の合併に伴い解散)

3. 東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊「始良市消防本部」活動記録

東日本大震災

平成23年3月11日14時46分18秒（日本時間）、宮城県牡鹿半島沖を震源とした東北地方大震災は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高40.5mにもものぼる大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸に壊滅的な被害をもたらした。

また、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムの決壊などによって、北海道・東北・関東の広大な範囲におよび被害が発生し、各種ライフラインも寸断された。平成23年6月30日現在（総務省消防庁まとめ）死者・行方不明者あわせて2万2,801人の人的被害、全壊10万5,940棟・半壊10万7,855棟などの住宅被害をはじめとする未曾有の被害をもたらした。この、死者・行方不明者の中には276名の消防職・団員も含まれている。

地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉の冷却が出来なくなり、大量の放射性物質の放出を伴う重大な原子力事故に発展した。この影響により、現在でも周辺一帯の住民は長期の避難を強いられている。

緊急消防援助隊鹿児島県隊の宮城県石巻市における活動経過

平成23年3月14日に消防庁長官から山口県、四国、九州及び沖縄県の緊急消防援助隊に対して出動要請がなされ、当本部からは、救急隊1隊3名、後方支援隊1隊2名の計5名が第1次隊として、陸路にて宮城県石巻市へ出動しました。途上、広島県消防学校・静岡県消防学校・東北自動車道（那須高原SA 野営）等、宿泊場所を経由し、3月17日11時すぎ、進出拠点となる宮城県遠田郡涌谷町の「涌谷スタジアム」に到着し、3月20日まで行方不明者の捜索・救助活動及び救急活動を行いました。



進出拠点「涌谷スタジアム」



後方支援隊出発前



野営状況



搜索前の集結状況



搜索状況



水没地の搜索状況

消 防 年 報

編 集／始良市消防本部 消防総務課

発 行／始良市消防本部

〒899-5241 鹿児島県始良市加治木町木田2040

TEL (0995) 63-3287

FAX (0995) 63-3291

印 刷／(有)森田印刷 TEL (0995) 62-2357